# ONE PIECE

尾田栄一郎画集

# COLOR WALK 2

9784088593760

1929979012007

ISBN4-08-859376-6

C9979 ¥1200E

定価:本体1200円+税

集英社

ONE PIECE 尾田栄一郎画集 COLOR WALK 2

永遠にアニメ
WWW.EIENNIANIME.NET
#EIEN-NI-ANIME@IRCHIGHWAY.COM

Eiichiro Oda

# ONE PIECE

尾田栄一郎画集

# COLOR WALK 2

JCDX

# ONE PIECE

尾田栄一郎画集

# COLOR WALK 2

Whisky peak
Drum island
Arabasta kingdom
Little garden
ONE PIECE WORLD MAP
ISLANDS OF
GRAND LINE

Whisky peak

# ONE PIECE

尾田栄一郎画集

## COLOR WALK 2

GRAN

PAGE 8-15 1999.4.12～1999.6.14

PAGE 16-21 1999.6.21～1999.8.16

PAGE 22-33 1999.8.23～1999.10.25

PAGE 34-41 1999.11.1～2000.1.10

PAGE 42-47 2000.1.16～2000.3.20

PAGE 48-55 2000.3.27～2000.6.8

PAGE 56-59 IMAGINATION

PAGE 60-69 2000.6.12～2000.8.7

PAGE 70-79 2000.8.14～2000.10.23

PAGE 80-89 2000.10.30～2001.1.17

PAGE 90-94 2001.1.29～2001.4.9

ONE PIECE
尾田栄一郎画集
COLOR WALK 2
●CONTENTS●

PAGE 95-100 EARLY DAYS

PAGE 101-105 MONOCHROME TALK

PAGE 106-107 INDEX

PAGE 108 POSTSCRIPT & AUTHOR'S PROFILE

PAGE 109 SPECIAL POST CARD

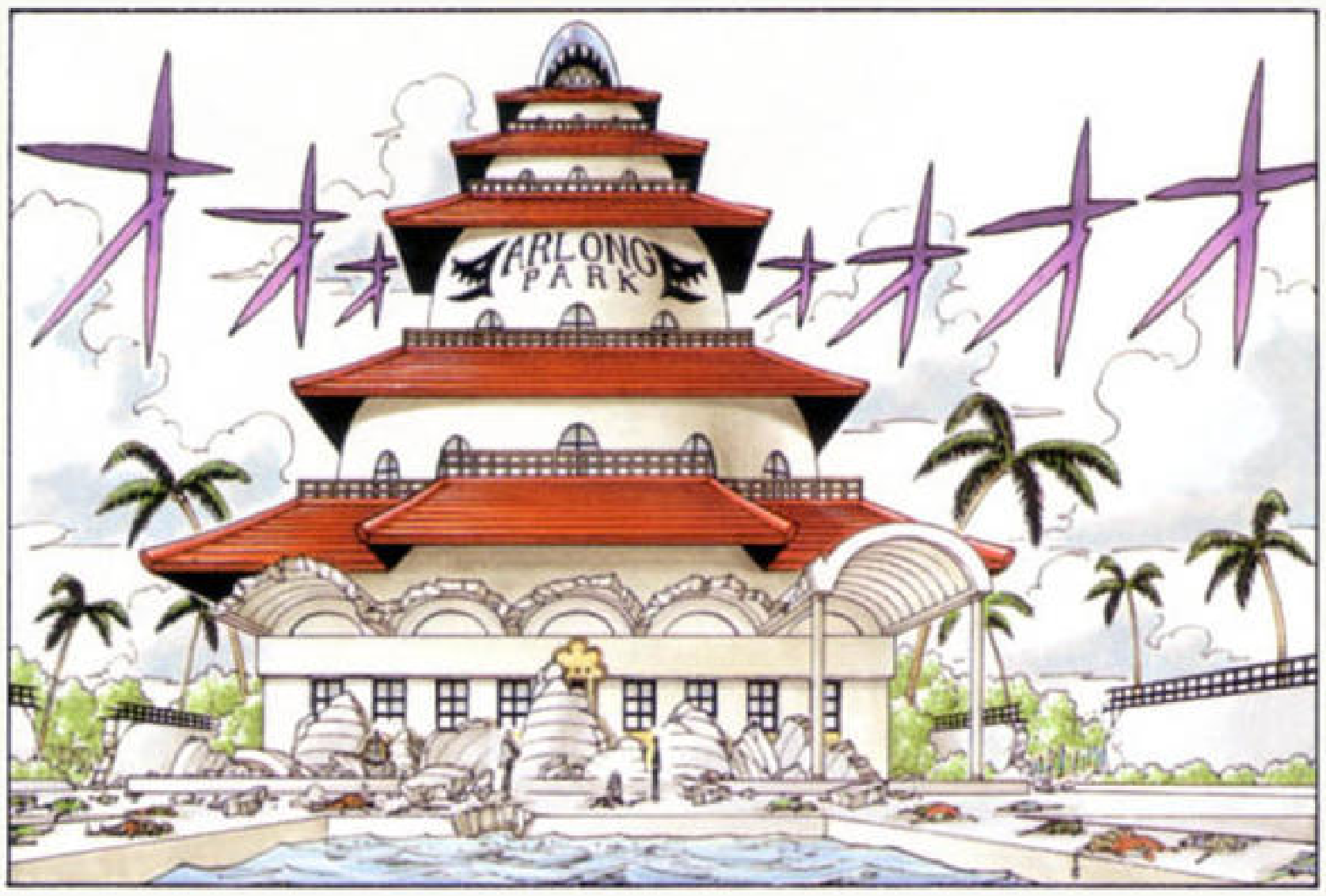
1999.4.12～1999.6.14

戻ったァー!!!!

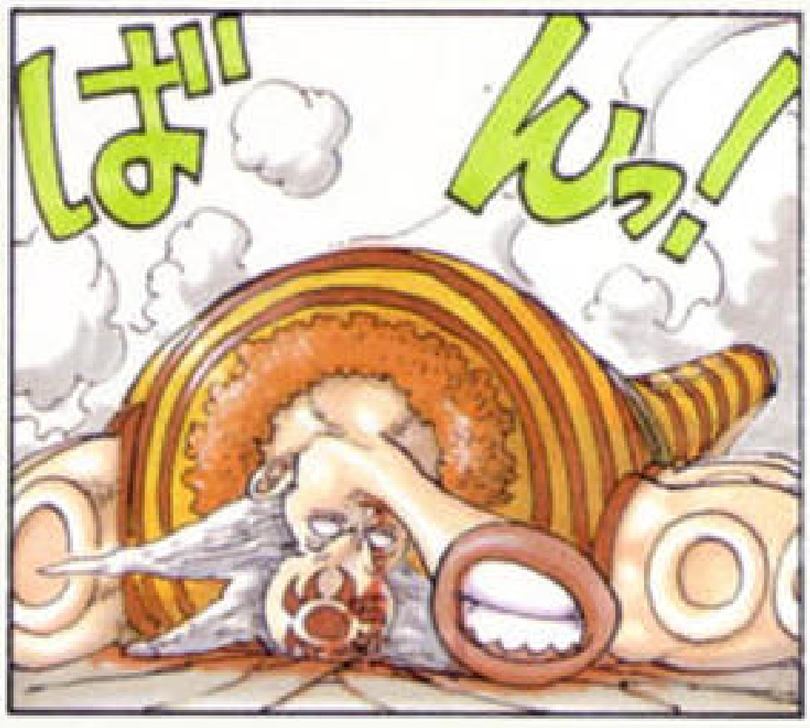
Cocoyasi

# DECISIVE BATTLE IN ARLONG PARK

BAD CONDUCT
JUSTICE
PANDA


ARLONG
PARK

ピキ…


ばっ!

!!

おいやめろ!!

てめェ その体で海になんか入ったら死んじまうぞ!!

ガッ…!!

!

ゼェ

早くルフィを…

ゼェ

うるせェ 黙ってろ!! あいつはもう限界だ!!

ゼェ

ゼェ

お前の勝負を待ってるヒマはねェんだよ!!

あーわかってる!!

もう時間がねェことくらいわかってるよ

そんなこと百も承知で止めてんだてめェそ 黙ってろクソ野郎が!!

!?

ルフィッ…

ルフィ!!!
うがあ!!!
!!!?
1999.6.21～1999.8.16
Eastern Islands
Kuasi vil
トクトク
トク
ありがとう…

BRORORO...

gonna have a party!

ゴゴゴゴオオ……!!

1999.8.23～1999.10.25

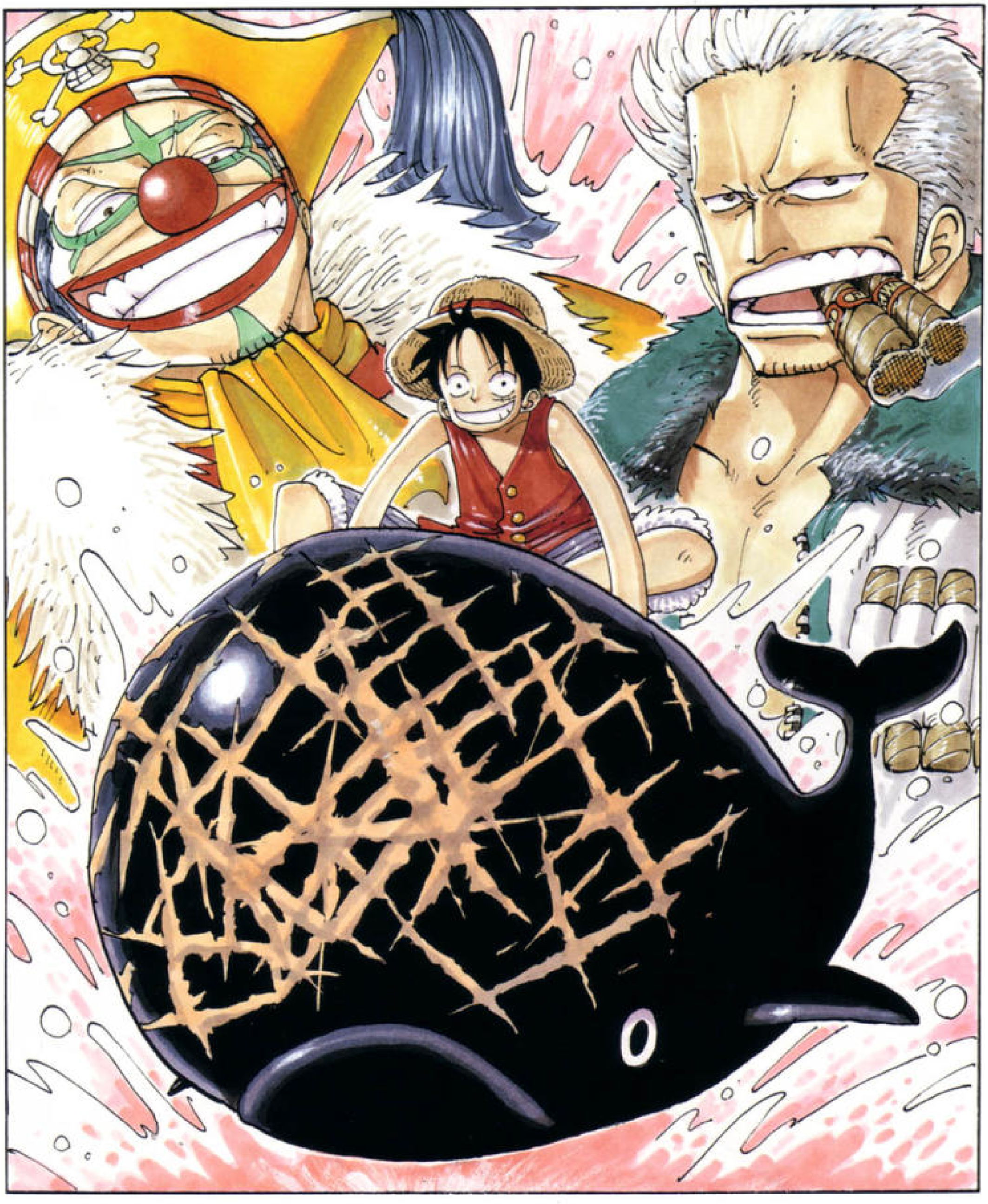
おかわり――イ!!!

# One Piece

連載を始めて2年。
この号でONE PIECEアニメ化の告知をした。
話はちょうど第100話。
タイトルは、"伝説は始まった。
僕は思った。「かっこいい…。」

It's funky one piece
GOAL?
DON'T FUNK

ゴミ捨て場ってなんかいい感じ。
人が要らんものが、
自分の欲しいものだって事もある。



月が出た

ウイスキーピークの歓迎の宴は続く――

そこで おれは クールに こう 言ったんだ

うい

『海王類共め おれの仲間達に 手を出すな!!』

おおおおお ホンパーイ!!!

まァ あの"風の帯大脱走"に関しちゃあ さすがの おれも少々震えたね…

"武者ぶるい" ってヤツだ

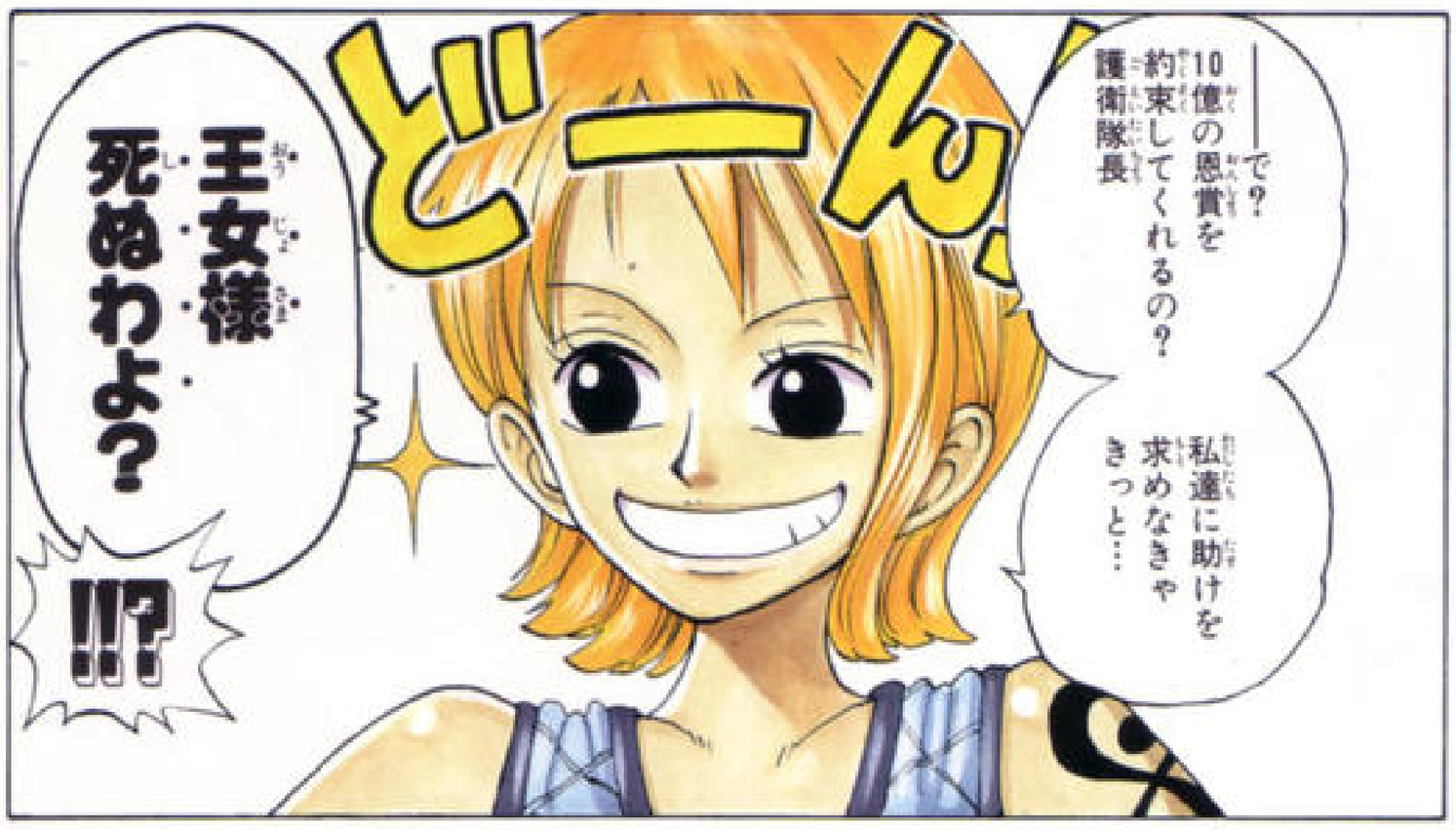
すてき――っ♡ C・ウソップ!!

いやーん♥

# SAPOTEN GRAVEYARD

1999.11.1～2000.1.10

ゴチャゴチャうるせェな!!!



おぼろ月におぼろな年月。
古代遺跡には、それを暗躍させる
真っ暗い影が巣くうのだ。

でっかい巨人はおっとりしてて、やさしい。
そんなイメージはいや！
でっかい奴は豪快で、強い暴れ者。
巨人がいたら、きっとそんなだ。

# ドォーン

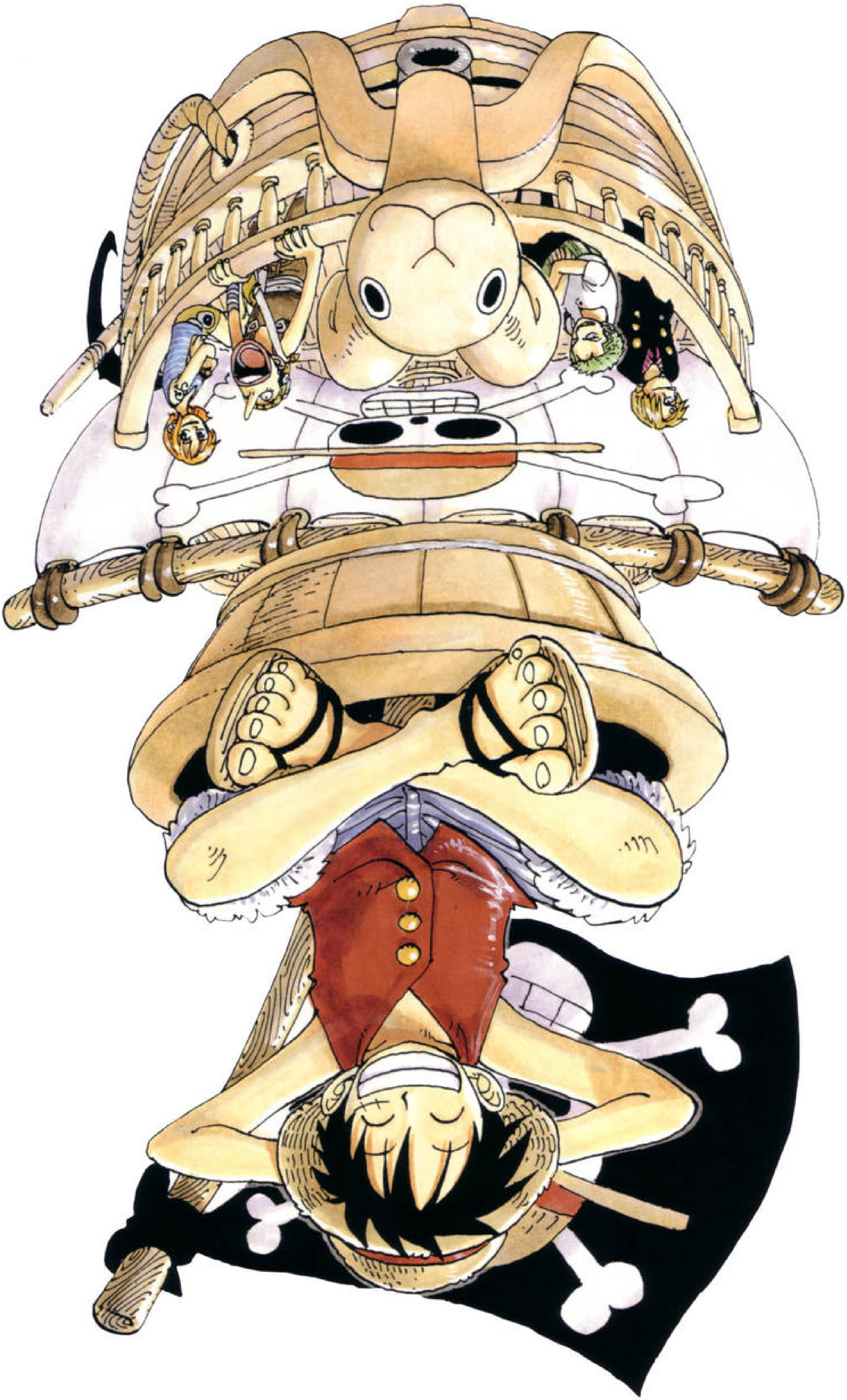
2000.1.16 ~ 2000.3.20

ゴォォ ワンワン

ヒヒヒ

パパキキ

garden



ゴッン!!!

2000.3.27~2000.6.5

ウソだニィ!!!

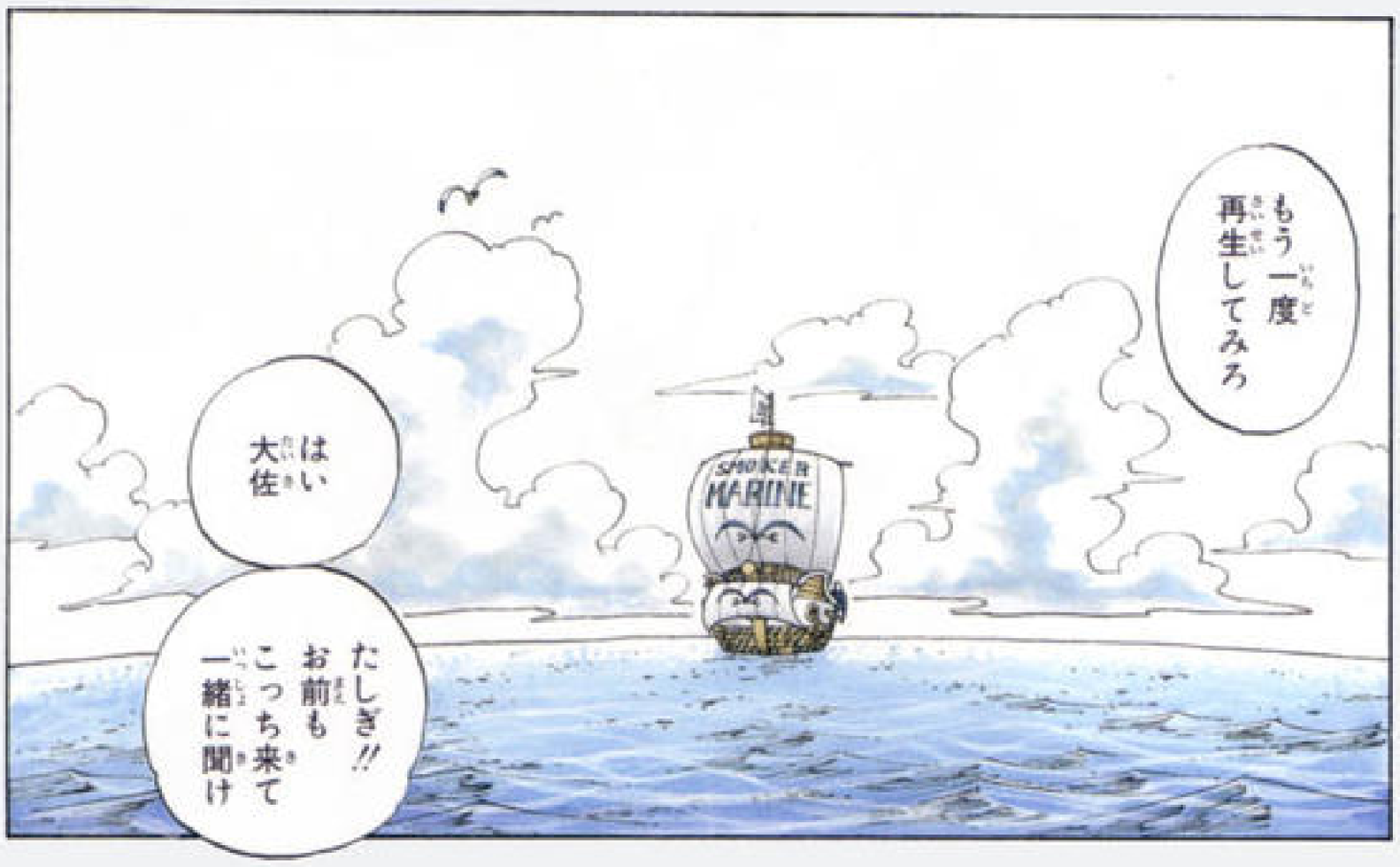
ボ

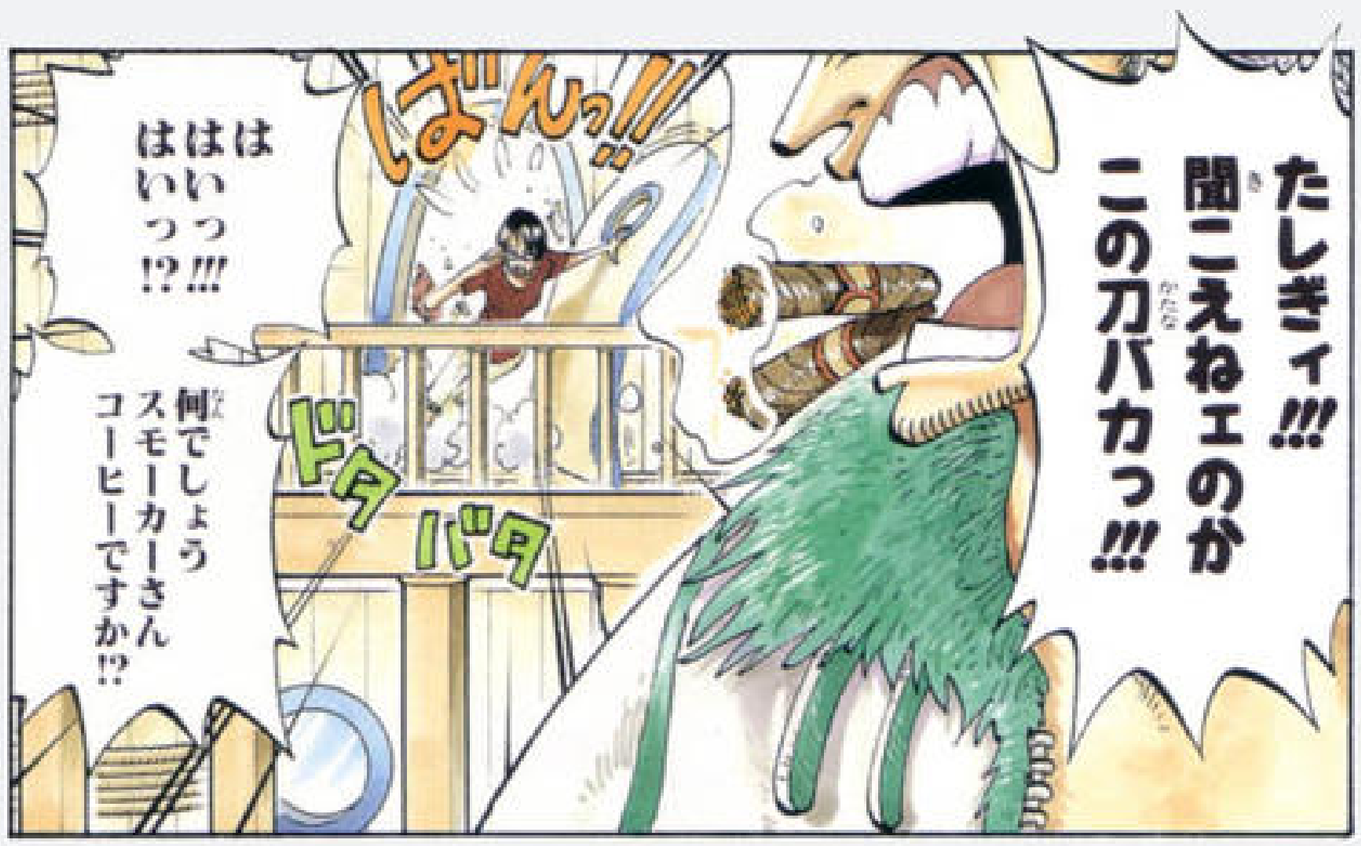
ロッ

# ONE PIECE

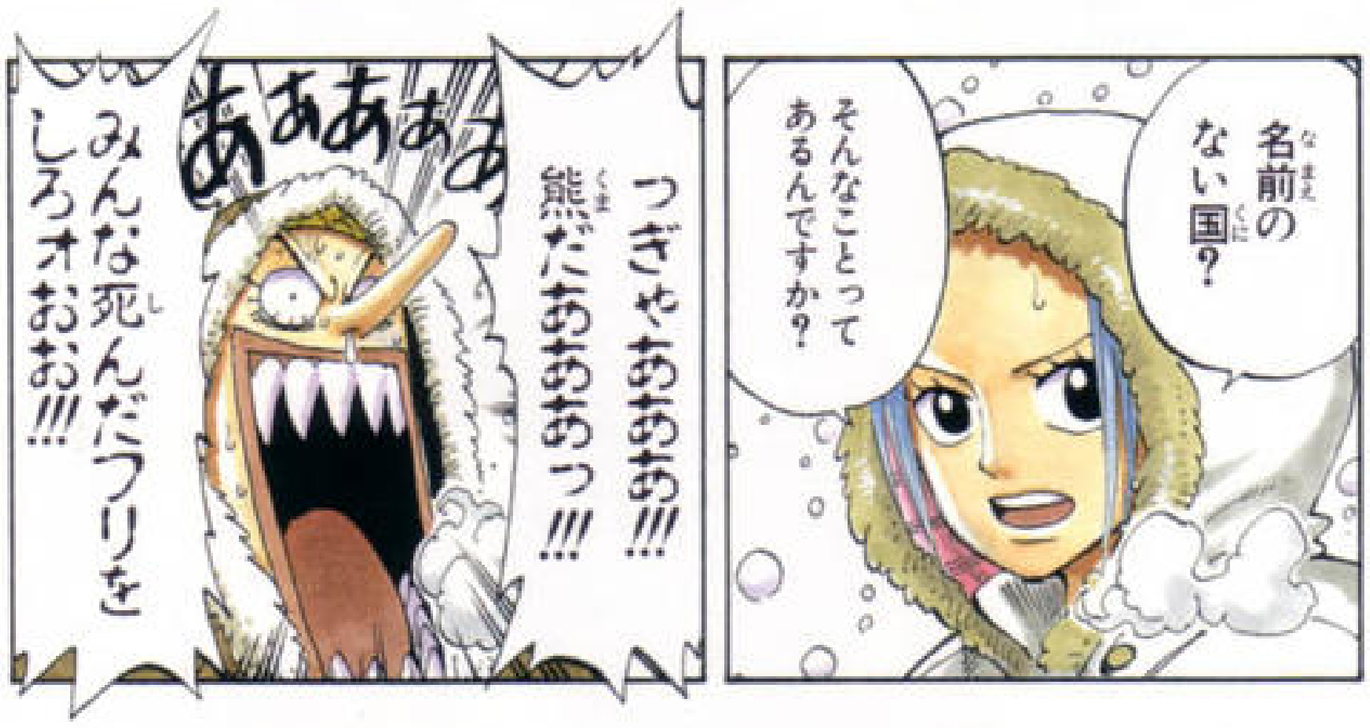
Stand up-if ya wanna fight

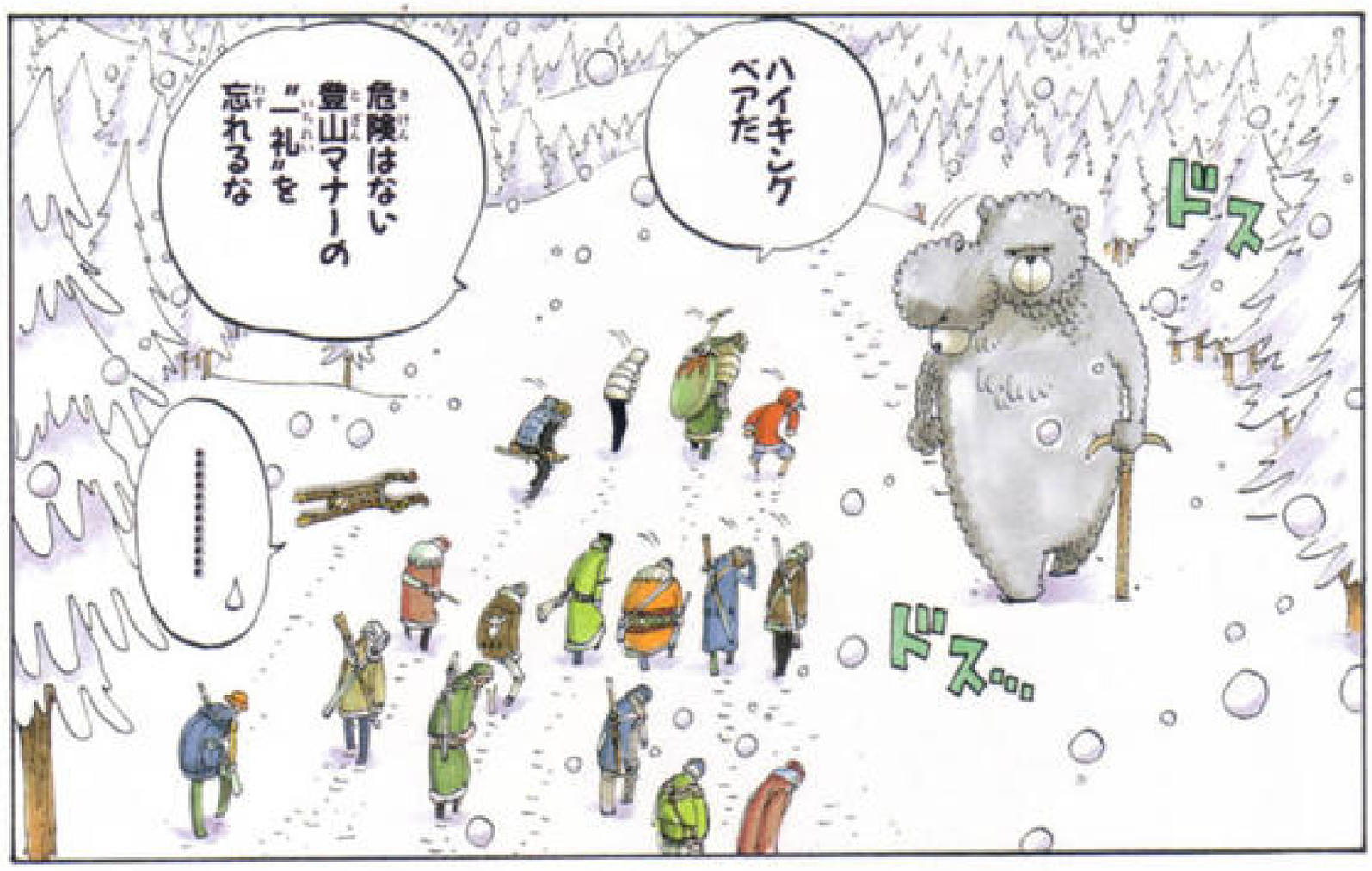
この絵の見せ場はまん中のカルガモ、カルー。
お前、飛べよ。…まあでもカルガモだしなー。





この国に
名前は
まだ無い


名前の
ない国？
そんなことって
あるんですか？
つぎゃあああ!!!
熊だあああっ!!!
あああああ
みんな死んだフリを
しろオおお!!!


ハイキング
ベアだ
危険はない
登山マナーの
"一礼"を
忘れるな
……
ドス
ドス…

巨人族

エルバフの戦士

巨人族

「ゲギャギャギャ」

# ◆IMAGINATION◆

巨人達の洞窟

ギガンツ・ケイヴ

くいな似の剣士

フルボディ♡

白服に

そんなもの!!

剣すごい

海軍OFFの日

ユルスマジマスク

彼に、何かを、許し願てもらう事は、困難だ。

ジャブロウ

いってぇ
なにを
はばくれ
やがる
よ

へ
ルイを
知ってい
るか

すごい
わ

か！

すげ！

「診断」

ボール

「ランブル

」

ファイング ポイント

「ファイング 飛力ポイント 強化」

ヘルカ「ガードポイント」

頭脳強化

「ブレーンポイント」

「診断」

アームポイント

人間

パワー

「人間」分のパワーは
どこに存在するか

人間＋トナカイ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 力 | ヘビィポイント | 重量強化 | |
| 腕 | アームポイント | 腕力強化 | |
| 脚 | ジャンピング | 脚力強化 | |
| 頭 | ブレーンポイント | 頭脳強化 | |
| 空 | ホーンポイント | 角強化 | |
| 盾 | ガードポイント | 肉体強化 | |
| 歩 | ウォークポイント | 脚力強化 | |

攻
防
攻
守

人 人 人 人 人
トナカイ トナカイ トナカイ

角 頭 体 手 足

男

当然りよっ 女でくう

ナミもおそう

ん!!!

あらだって女の男よ？

美しさはある

!!??

悩む男 パワフル

パラエティ色

あら

くちなしなの？

男が女か分からない（自分でも）

守備隊長 ドルトン

あの者達が何百年かかってこようとも私には勝てるわ

ならばわれらはどうあがこうとも

中央族のおたからどうしたの？何かあったのか!!!

せめてもの償いだ……!!!

あんたを裏切ったおれを殺しに来たのか

アンタにはもうウンザリだ

イッシー20

0424

ダマシの町

賞金稼ぎ会社 BELLY WORKS

スターサンデイ

なぜ男

じゃあ男の方をこっちに呼べばいいじゃん

今ノースブルーでは

40年に渡る戦争がおきている

国に雇われた海賊達による

革命軍

Mr2.

ミス・オーボン

しかが

Mr.10

CASINO

ONE P

(オカマ)
薔薇の町 レインベース
RAIN BACE

ブラックマン

海軍本部 マルシアーノ

大尉

小尉

「上司をくどこうっての？出直してらっしゃい」

「部下をナンパですか？うったえますわよセクハラで」

ぶわっはっはっは

わしとらむか!!

「肉くうな」

サンジのつま

ルフィ

# Drum

## ドレスローザ

おれは決して

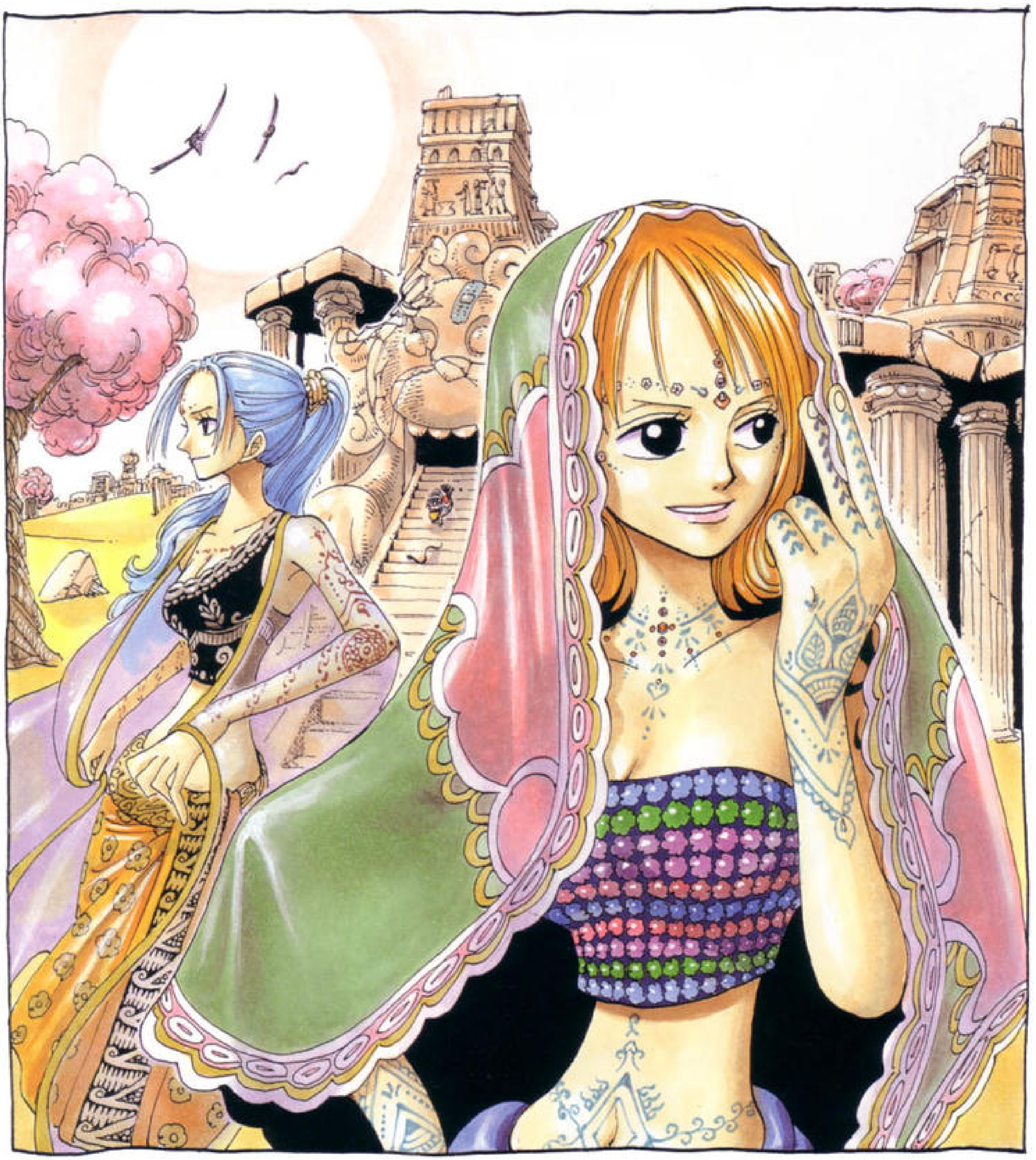
お前を撃たねェ！

ヒュオオオ

!?

2000.6.12～2000.8.7

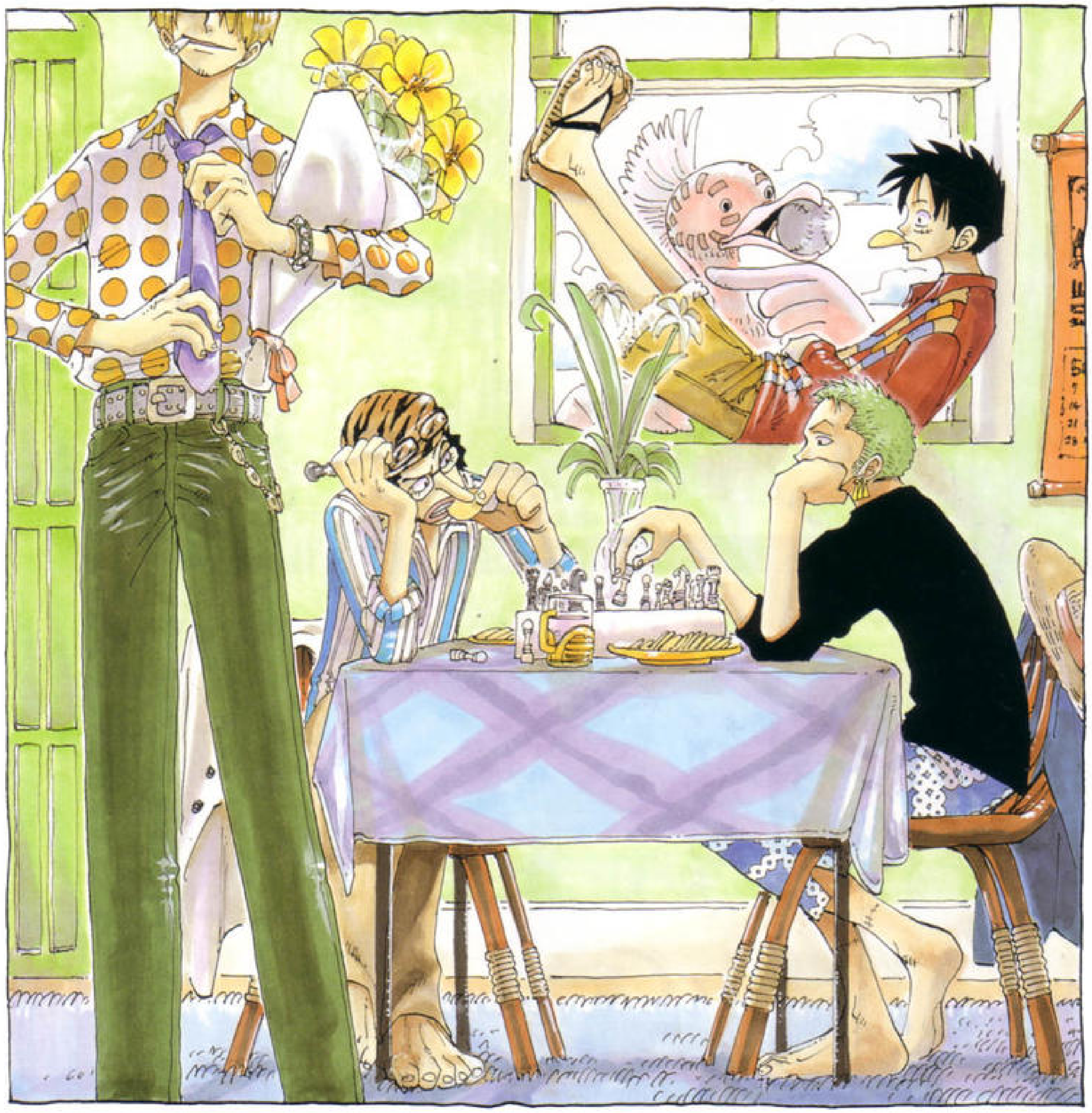
ポロ ポロ



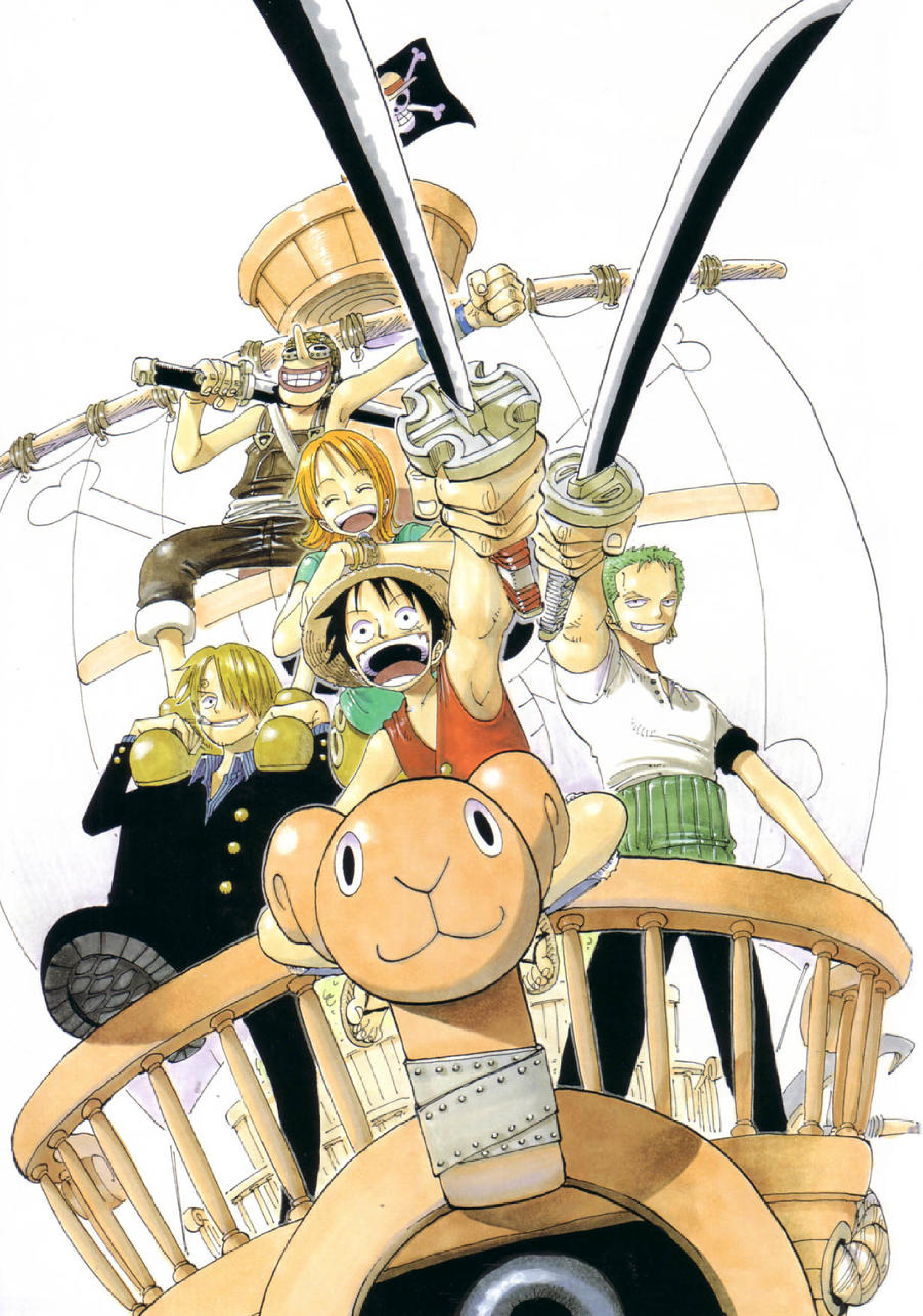
# One Piece

On a perfect day

タコウインナー食いたーい。
――後ろに見える巨大な望遠鏡で、
かつて人々は空を見上げ、一体何を…
タコウインナー食いたーい。



〝アミウダケ〟のスープ!!
うまい?
つか〜〜〜っ!!
まずっ!!!
おえっ!!!
ぐあっ!!
えぇ〜〜〜〜〜っ!!!
ガーン!!
エッエッエッエ…
〝良薬〟ってのは
まずいモンなのさ
効いてる証拠だ
力がみなぎってくるぜ…!!!
ありがとうよ!!!
チョッパー!!!



NEIGHBOURS
1

# ルフィ

2000.8.14～2000.10.23

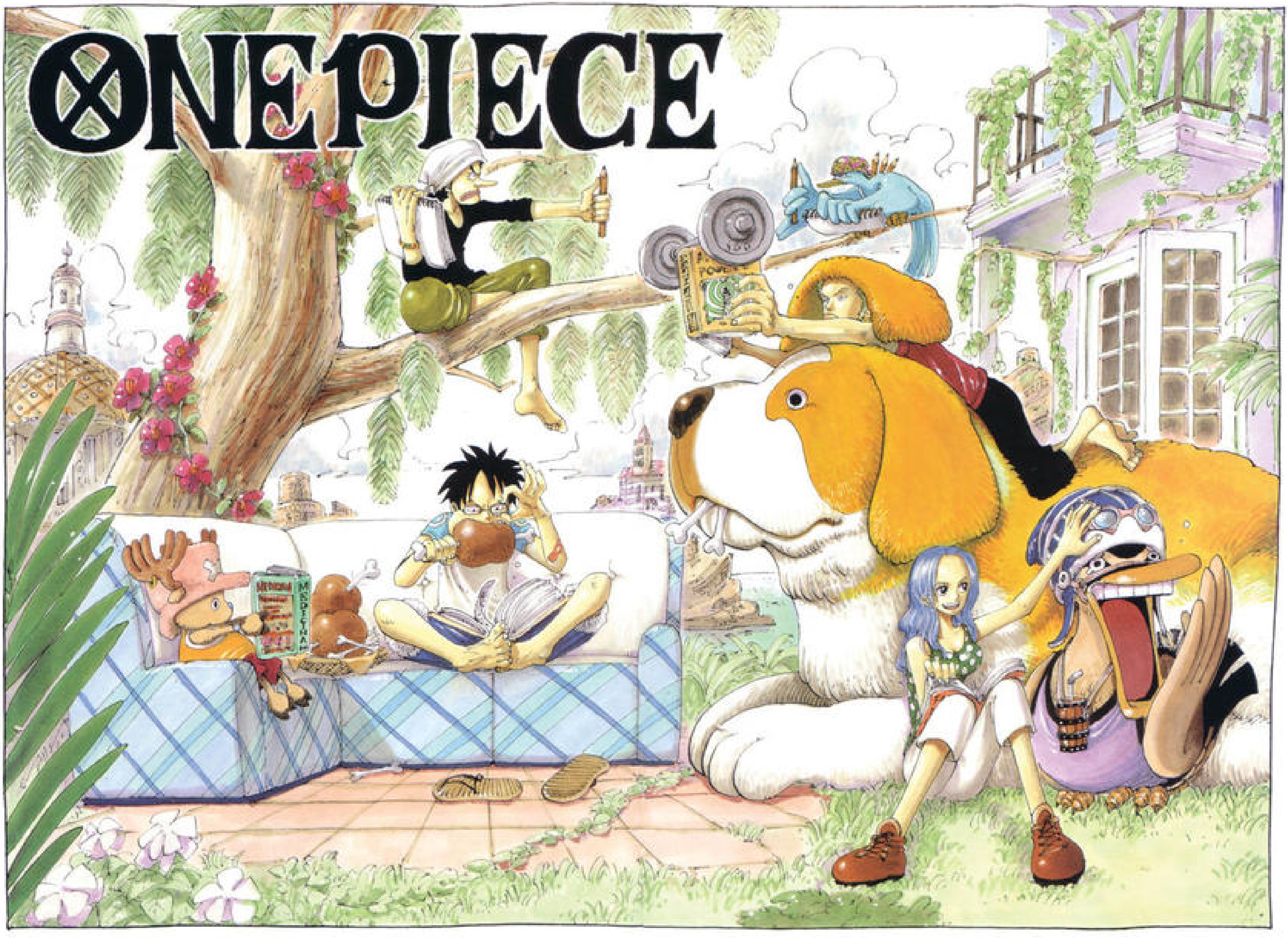
# ONE PIECE

## A caballo vamo' pa'l mar!

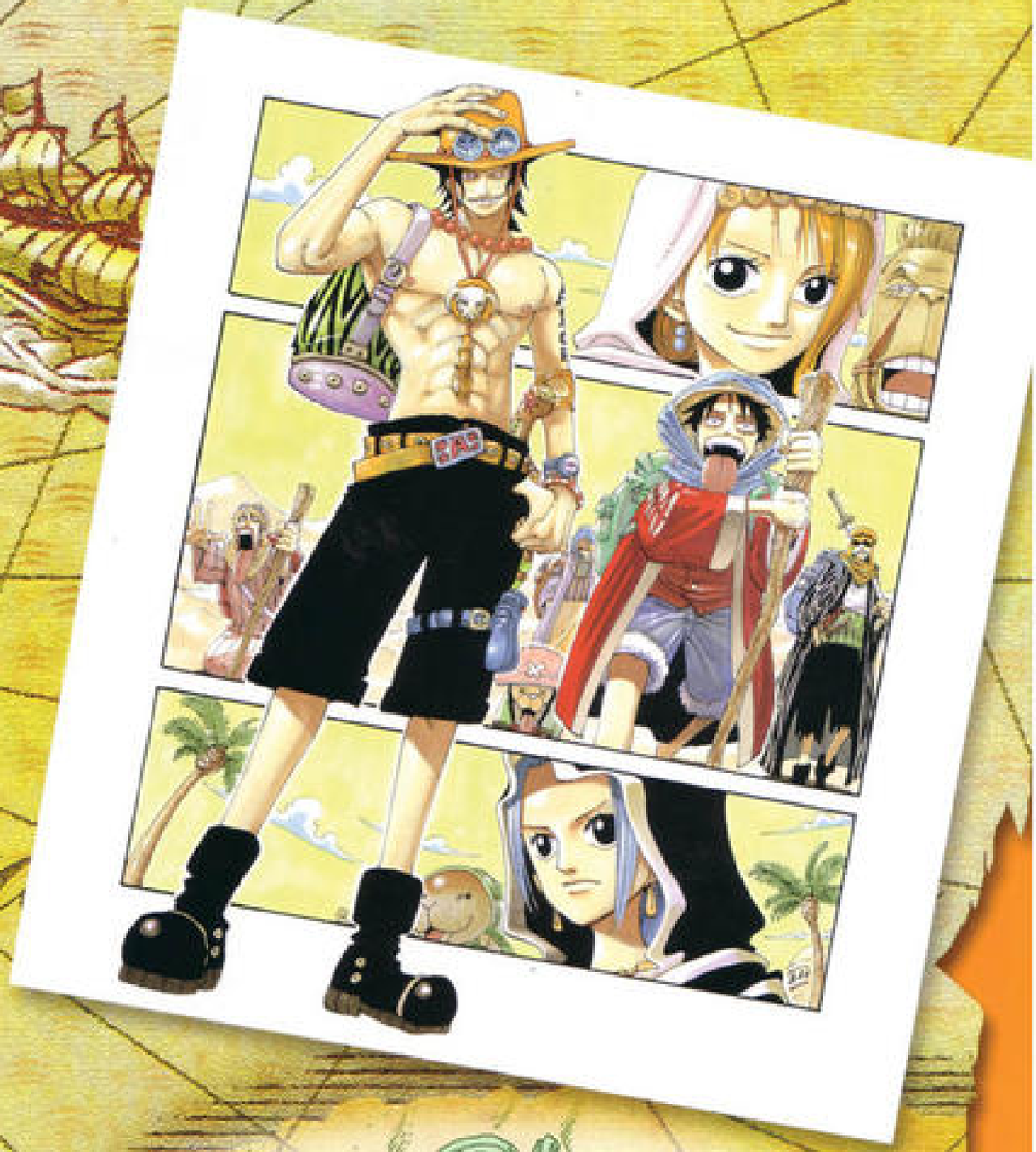
A caballo vamo'pa' l mar !
「海を越えてゆけ」確か、そんな意味。
スペイン語で調べた…気がする。

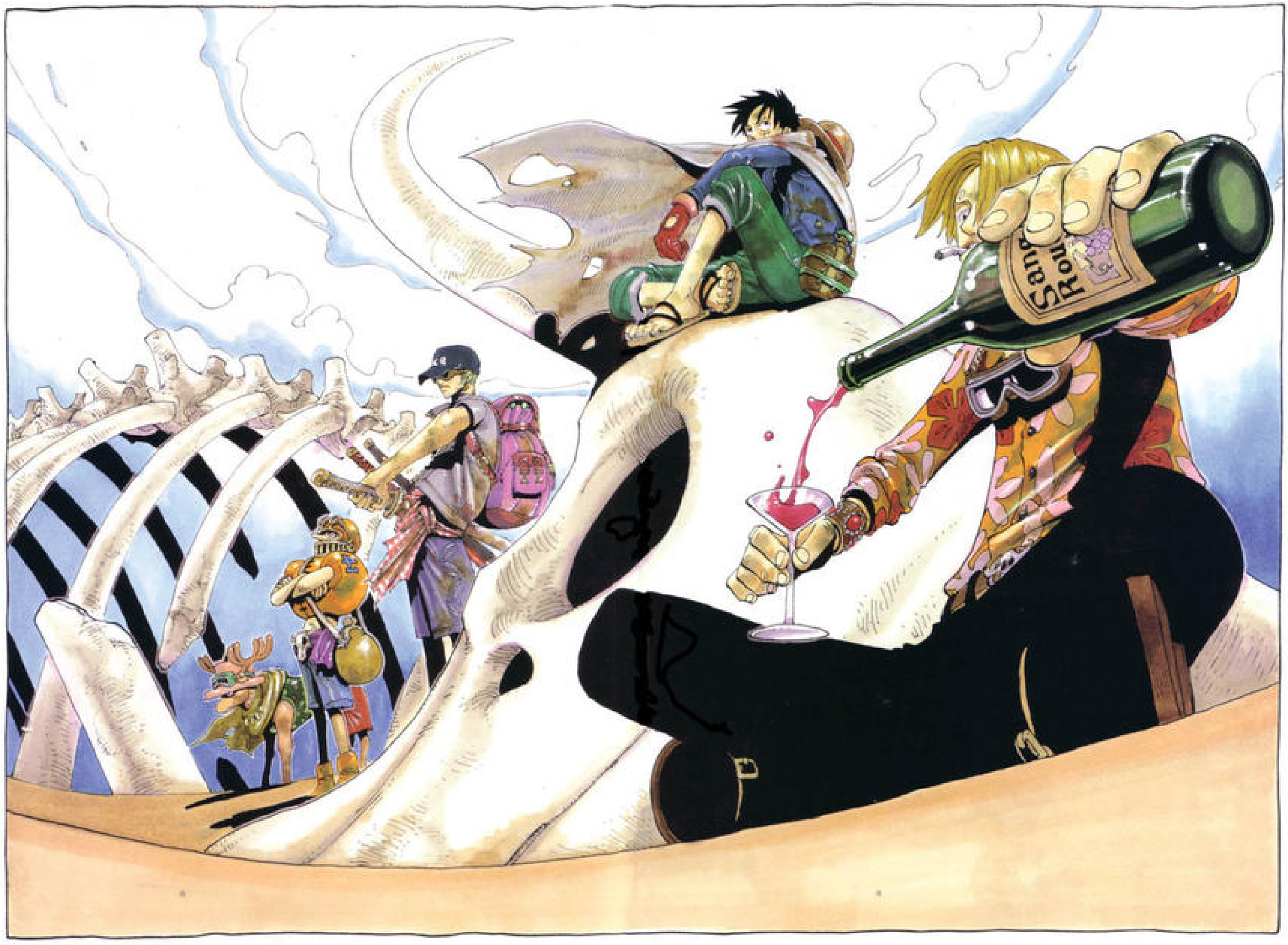
wet
道

# ONEPIECE



2000.10.30～2001.1.17




Sanji

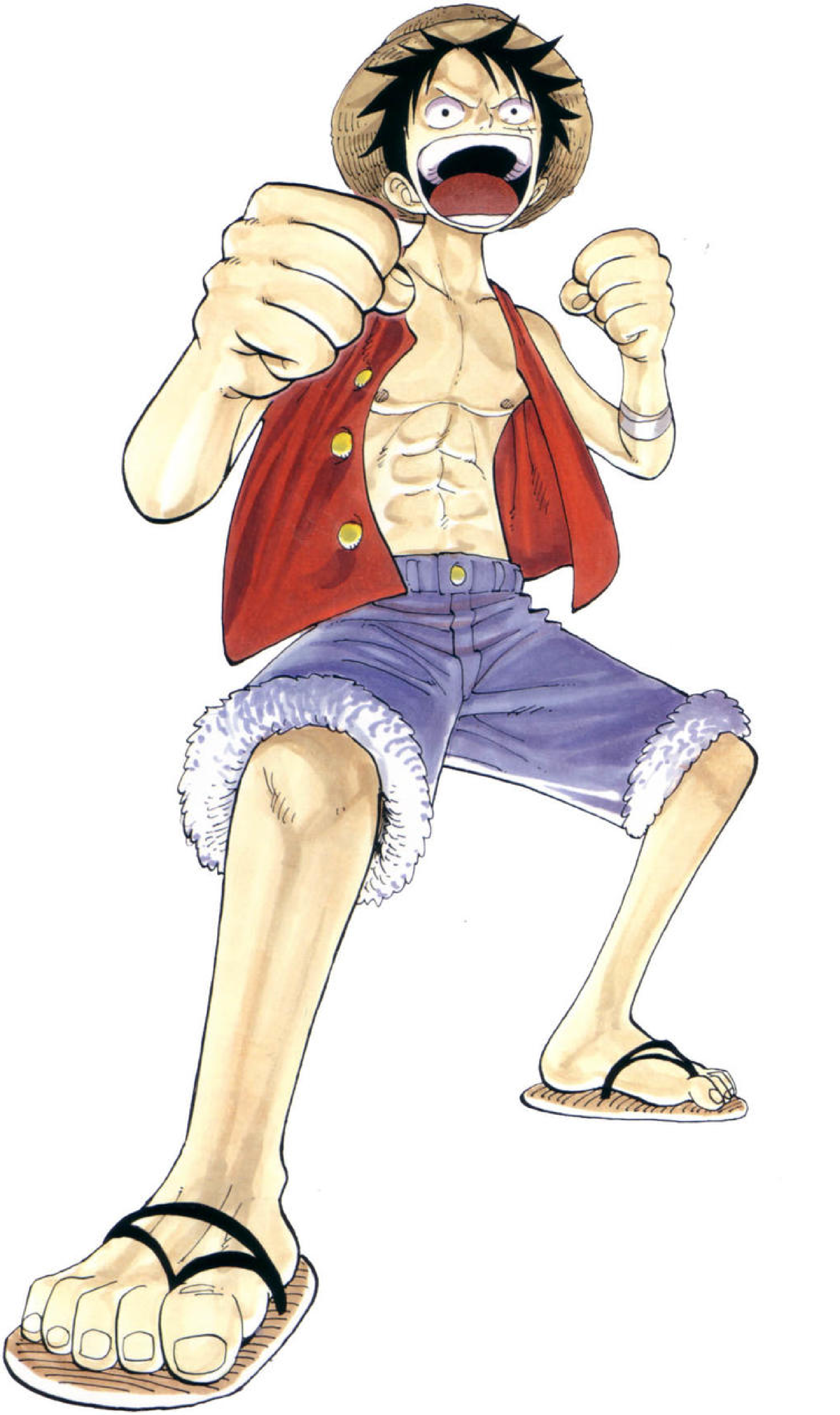
でっかい生物の骨は人のロマンをかきたてる。
こんなヤツが昔、この辺をのそのそと、
歩いてたんだ。
今や生物の生活しないこの土地は
やけに風が強い。

# ONE PIECE

## Flavor of Sand.

# ONE PIECE

## 〝スパイダーズカフェに8時〟

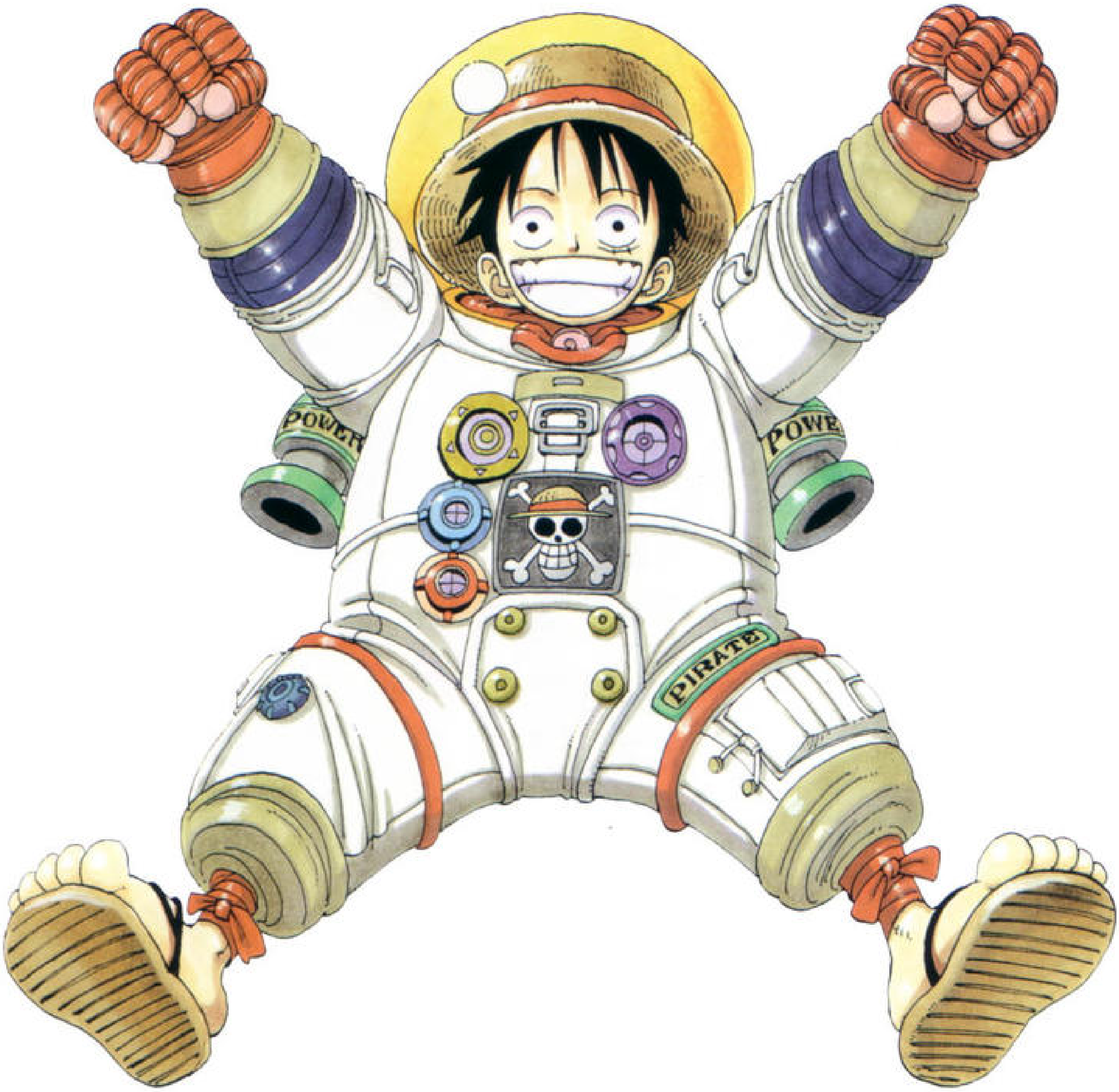


2001.1.29～2001.4.9

PEACE

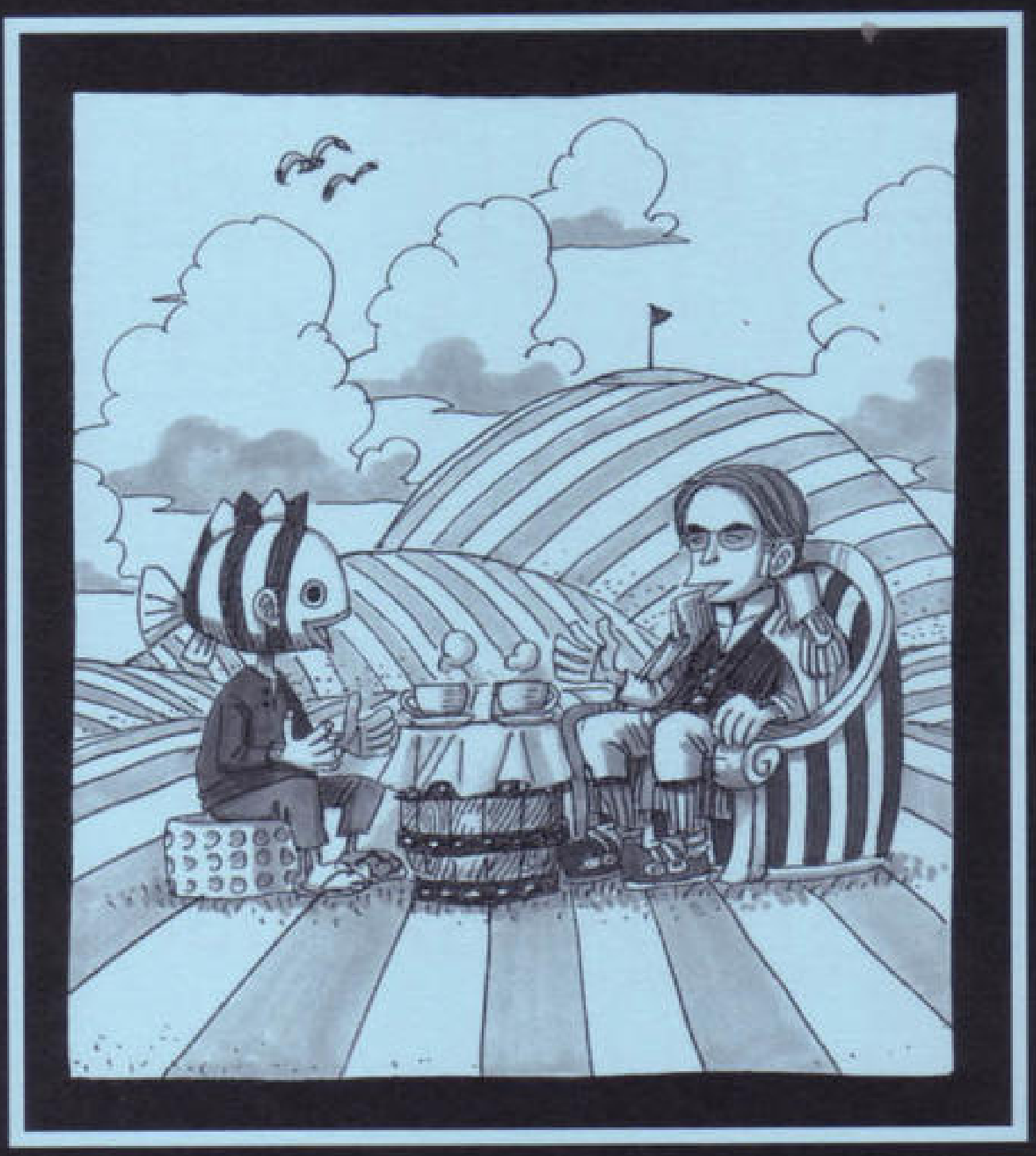
# ◆EARLY DAYS◆

ちょうどこの頃、アメリカ帰りだった。
ネイティブなファッションにやられていた。
うさぎは…うさぎは関係ないけど。



◆EARLY DAYS◆

WANTED



マンガ家としての原点をたどる時間…

# MONOCHROME TALK

現在、押しも押されぬ人気マンガ家となった尾田栄一郎先生にとって、
マンガ家をめざすきっかけとなったのが藤子不二雄(当時)先生だ。
尾田先生のルーツをたどるように進められた対談は、
やがてマンガに情熱を傾ける人間同士の
意外な共通点を浮かびあがらせた…！

## 藤子不二雄Ⓐ

FUJIKO FUJIOⒶ

## 尾田栄一郎

EIICHIRO ODA

## 当時は、マンガといえば藤子先生でした
（尾田）

―今回も、尾田先生のたっての希望によりビッグな対談が実現しました！―

**尾田**：イヤ、本当にうれしいです！ぼくの小さいころは藤子不二雄（※注1）ブームのまっさかりで、マンガというものは、すべて藤子不二雄という人が描いてるというぐらいの印象で。しかも、生まれてはじめて読んだマンガが『怪物くん』（※注2）だったんですよ。

**藤子Ⓐ**：あぁー、そうですか。それはうれしいですね。

**尾田**：いままで藤子先生のことを二人に分けて考えたことってなかったんですが、今回あらためて、どちらがどの作品を描かれたのか（※注3）ということを教えてもらったんです。そうしたら、ぼくは完全に安孫子派（※注4）だった。

**藤子Ⓐ**：それはどうも（笑）。

**尾田**：で、自分がどこに魅力を感じていたかというと、現在の少年マンガにも通じる戦闘的な要素。怪物くんみたいな強いヒーローがいて、敵を倒してくれるといった部分にワクワクしてたんだろうなーと思うんですね。

**藤子Ⓐ**：ウーム、なるほど。コンビでやってきたということについてお話しするとね、デビューしてしばらくまでは二人でいっしょに描いていたんですよ。描く絵も見分けがつかなかったし、描きたい話もSFものとか、同じ指向だったからね。

## 生まれてはじめて読んだマンガが『怪物くん』だったんですよ。
Eiichiro Oda

## だんだんペンのタッチに違いが出てきた
（藤子Ⓐ）

**藤子Ⓐ**：ぼくが1コマ描いたら渡して次のコマを藤本君が描く、といった感じでやってきたんだけど、だんだんペンのタッチが変わってきてね。

**尾田**：どんな感じにですか？

**藤子Ⓐ**：藤本君（※注5）は非常に繊細でね、スマートに描くんだけど、ぼくはグッ、と力を入れて、強弱をつけて描くもんだから、それぞれの絵にかなり違いがでてくるようになって。それじゃあ、ということで『オバQ』（※注6）を最後に、各作品をひとりずつで描くというスタイルに変えたんです。

**尾田**：ひとりずつで描くようになったとき、ペンネームを別にするという事は考えられなかったんですか？

**藤子Ⓐ**：別にする必要性は感じなかったですね。合作することをやめても、めざす方向性はいっしょだったし、読者のほうも、各作品を同じ「藤子不二雄」の作品として見てくれていたので。

**尾田**：やっぱりぼくも、そういう読者のひとりでした。心やさしい部分とか、戦闘的な部分とか、すべてひっくるめて藤子不二雄だと感じてたんですね。

## EIICHIRO ODA

←↑主人公・怪物くんは怪物ランドの王子。親友のヒロシや三人の家来（ドラキュラ・オオカミ男・フランケン）たちといっしょにドタバタをくり広げる。

©藤子スタジオ

（※注1）数多くの名作マンガを世に送り出した巨匠。当初は藤本弘（藤子・F・不二雄）先生と安孫子素雄（藤子不二雄Ⓐ）先生によるコンビのペンネームだったが、'87年にコンビを解消。以降は、それぞれ別のペンネームで作品を発表してきた。

（※注2）'66～'68年に少年画報、週刊少年キングで連載された作品。'80年にもコロコロコミックで連載されたほか、2回にわたってアニメ化されている。

（※注3）藤本弘（藤子・F・不二雄）先生が単独で執筆した作品は『ドラえもん』『パーマン』『キテレツ大百科』など。安孫子素雄（藤子不二雄Ⓐ）先生が単独で執筆した作品は『怪物くん』『忍者ハットリくん』『プロゴルファー猿』などがあげられる。

（※注4）尾田先生は、『怪物くん』や『まんが道』など、安孫子素雄（藤子不二雄Ⓐ）先生が描いた作品に強い印象を受けたとのこと。

（※注5）藤本弘（藤子・F・不二雄）先生。'33年、富山県高岡市に生まれる。ロボットや宇宙などのSF的題材と、日常生活を融合した作品で人気を博した。'96年に逝去。

（※注6）『オバケのQ太郎』。'64年より週刊少年サンデーのほか、多数の雑誌に連載され、合計3回アニメ化された。大食らいでイヌがニガ手なオバケ・Q太郎が、人間の少年・正ちゃんの家に居候することからはじまるギャグマンガ。オバケ、人間を問わず、個性的なキャラクターが数多く登場して、一大ブームを巻きおこした。

## 自分が描きたいことでないと描ききれない

（尾田）

――尾田先生の作品をごらんになって、どんな印象をお持ちですか？――

**藤子Ⓐ**：非常に元気がいい。ワクワクさせてくれる作品ですね。

**尾田**：いまの少年マンガって、血が出たり、はげしい表現が多いですけど、その点についてはどう思われますか？

**藤子Ⓐ**：ぼくら古い世代の人間は、自分のなかで「これ以上はやっちゃイカン！」という仕切り、規制を設けて描いていましたね。ただ、尾田さんの作品は、そういう枠組みを飛びこえたところにあるというか。自分の好きなことを描いて、それが読者にウケているという理想的な流れを感じるなあ。

**尾田**：そんなに言っていただけるなんて、もう死にそうです。ぼくも「読者が喜ぶ作品を」とか、「世の中にあわせて描かないと」とか、当然のことして理解しているんですけど、結局は自分が描きたいことでないと、描きることができないと思うんです。

**藤子Ⓐ**：そうだよねぇ。ぼくも、読者の反応を意識して、計算しながら描いたことはないですね。自分が読みたいんだけど、だれも描いてないものを、「ヨッシャ！　それなら自分が描こう」という感じでやってきた。自分が、自分自身の作品を心待ちにしている最初の読者だという感覚を持っていること。この点は、ぼくと尾田さんに共通しているなあと思うんですよ。

**尾田**：うわぁ…。とってもうれしいですね。しあわせです。

## 小さいころからマンガ家になると決めてました

（尾田）

――ここで、お二人がマンガ家をめざすことになったきっかけなどを、お聞きしたいと思います。――

**尾田**：ぼく、小さいころ「世の中にはマンガ家という仕事がある」ということを知ったときに、「自分もマンガ家になる！」と決めたんです。

**藤子Ⓐ**：それは小学生くらいのとき？

**尾田**：いや、幼稚園くらいでした。

**藤子Ⓐ**：おぉ、それはスゴいねぇ。

**尾田**：それまで、大人って全員スーツを着て会社に行くものだと思っていて。「絵だけ描いていればいいなんて、スゴいじゃん！」とビックリすると同時に「ぼくも、そのマンガ家になる！」と決意したんですね。

**藤子Ⓐ**：その頃は、どういうマンガを描いていたの？

**尾田**：マンガじゃなくって、もうただ何かをマネた絵ですね。「ぼくは、怪物くんがうまく描けるからマンガ家になれる」と思っていたくらいですから。

**藤子Ⓐ**：そうか（笑）。実際の作品が描けるようになったのは、何歳くらいからなんです？

**尾田**：小学校か中学校の頃くらいにはなんとなくストーリーのようなものは考えていたんですが、どれも人マネのようなもので。はじめて、物語らしい物語が入ったマンガを描いたのは、これまたはじめて手塚賞をもらった作品（※注7）ですね。十七歳でした。

**藤子Ⓐ**：じゃ、高校生のときだ。

**尾田**：その前まで「絵がうまければ、マンガ家になれる」と思ってたんです。でも試行錯誤するうちに、ストーリー作りのこともだんだんわかってきて。

## トキワ荘の頃は一種の戦国時代でしたね

（藤子Ⓐ）

**藤子Ⓐ**：ぼくもね、藤本君と出会ってから手塚先生に憧れながらマンガを描いてて、十九歳のときにいっしょに東京へ出てきてね。トキワ荘（※注8）っていうアパートで、石ノ森章太郎（※注9）とか赤塚不二夫（※注10）たちと、同じ屋根の下で暮らしながらマンガを描いてたんですよ。

**尾田**：『まんが道』（※注11）で読みました！　うわーっ!!　夜中にマンガを描いていて、廊下へ出るとほかの部屋も全部電気がついてる。そうすると「みんなやってるな。寝ちゃおれん！」とファイトが湧いてきてね。一種の戦国時代のようでした。

**FUJIKO FUJIO Ⓐ VS.**

†史上最大の賞金首、ギル・バスターに、自分が倒した賞金稼ぎの幽霊がつきまとうというストーリーだ。

（※注7）'82年の第44回手塚賞で、準入選を受賞した「WANTED！」のこと（JC尾田栄一郎短編集「WANTED！」に収録）。このとき手塚賞をもらったことが、本格的にプロのマンガ家をめざす大きな味方となったらしい。

（※注8）'52年に、東京都・豊島区に建てられたアパート。手塚治虫先生の入居をきっかけに、数多くのマンガ家が入居。藤子不二雄先生をはじめ、後のマンガ界を支える大物が、ともに青春をすごしたマンガ界の梁山泊。建物は、すでに取り壊されている。

（※注9）'38年生まれ。代表作は『サイボーグ009』や『仮面ライダー』など。'96年に、ペンネームを「石森章太郎」から「石ノ森章太郎」に改名した。性別や年齢を問わず、あらゆるジャンルでヒット作を手がけたことで知られる。'98年に逝去。

（※注10）'35年生まれ。『おそ松くん』や『天才バカボン』など、数多くのギャグマンガを世に送り出した、ギャグマンガの第一人者。

（※注11）'70～'72年に週刊少年チャンピオン、'77～'82年に週刊少年キングで連載された、藤子不二雄先生の自伝的作品。現在も、『愛…しりそめし頃に…』とタイトルを変え、ビッグコミックオリジナル増刊号で連載中。

©藤子スタジオ

†主人公、満賀道雄（イラスト内左下）と才野茂（イラスト内右下）が、まんが道をひた走る姿は多くのマンガ家志望者たちの共感を呼んだ。

**尾田**：ぼくにとっては、アシスタント時代の仲間たち（※注12）がそういう存在で。よく、語り合ったりしましたね。

**藤子Ⓐ**：やっぱり、同じ目標を持って競える人がいることはいいよね。

**尾田**：ホントに自分がキツいときに、キツくない人から「がんばれ」って言われるよりも、いっしょにがんばってる人に「おれもキツい」って言われるほうが、元気出ることってあるじゃないですか（笑）。

**藤子Ⓐ**：そうそう！　いや、ほんとにそうだよね。落ちこんだときでも一種の安心感が生まれるよね。

## 女の子よりマンガの話に夢中でした

（尾田）

―尾田先生は、仲間で集まっているとき、どんなお話をされたんですか？―

**尾田**：もう、マンガの話ばっかりですね。読者にわかってもらえるか難しいんですけど、マンガ語るのって本当に楽しいんですよ！　みんな若いんだけど、女の子の話するよりもマンガの話が楽しいというくらい熱かったんです。

**藤子Ⓐ**：何人くらいで集まってたの？

**尾田**：5人くらいですね。仕事が明けると、そのまま集まって。

**藤子Ⓐ**：いいなあ。純粋な時代だったんだね。みんな、それぞれのめざすマンガはバラバラなわけでしょ？

**尾田**：そうですね。でも、みんなの中にトキワ荘であったような切磋琢磨への憧れはあって。やっぱり『まんが道』は、ぼくらのバイブルなんです。

## 先の展開はほとんど決めずに描くんです

（藤子Ⓐ）

―お二人が現在、どんなスケジュールや段取りで作品づくりをしているか、ということをお聞きしたいのですが。―

**藤子Ⓐ**：尾田さんは、手は早いほうですか？

**尾田**：絵を描くスピードは早いんですが、話を考えるのに時間がかかっちゃいますね。

**藤子Ⓐ**：じゃあ、作画に入ったらペースはキチンとしているんだ。

**尾田**：そうですね。絵に入るところまでたどりつけたら、締切りに間に合わせられるというヘンな自信があって。そう言いながらも、いつも完成するのはギリギリで、編集には迷惑をかけているんですが。

**藤子Ⓐ**：締切りは当然守らないといけないんだけど、でも締切日の何日も前に原稿を渡すというのは、ボクは好きじゃないんだね。

**尾田**：よくわかります！

**藤子Ⓐ**：やはり、ギリギリまで作業をするというのは、作り手にふしぎなエネルギーを発揮させますよ。

**尾田**：反対に、何日も前に出すと「本当に自分は全力を出したのか？」と疑問が残ったりするから（笑）。

**藤子Ⓐ**：ぼくは、仕事の量が多くても「絶対に原稿は落とすまい」（※注13）と心に決めていたので、ある時期から仕事の進めかたを変えましてね。それまでは、ネームやアイディアノートを作ってたんだけど（※注14）、そういうのをやめちゃったんですよ。ジャズの即興演奏のように、下描きナシで描きはじめるんだけど、完成したネームをなぞっていくよりも、自分でもビックリするようなアイディアが出てくるんです。

**尾田**：すごーい！　ぼくも、長い目で見ると、あまり先のことは決めずに描いてるんですが、結局はなんとかなるので。その意味では似てますね。毎週それをやる勇気はないんですが。

## マンガを描くことが、仕事だと思えないんですよ

（尾田）

**尾田**：でもぼく、いまだにマンガを描くことが楽しすぎて、仕事だと思えないんですよ。たまに、大人なのに遊んでていいのかなと思ったり（笑）。

**藤子Ⓐ**：やっぱりね、ぼくもマンガ家は仕事じゃないと思うんです。だからぼくは、職業を書くとき「マンガ家」と書いたことは一度もないわけ。

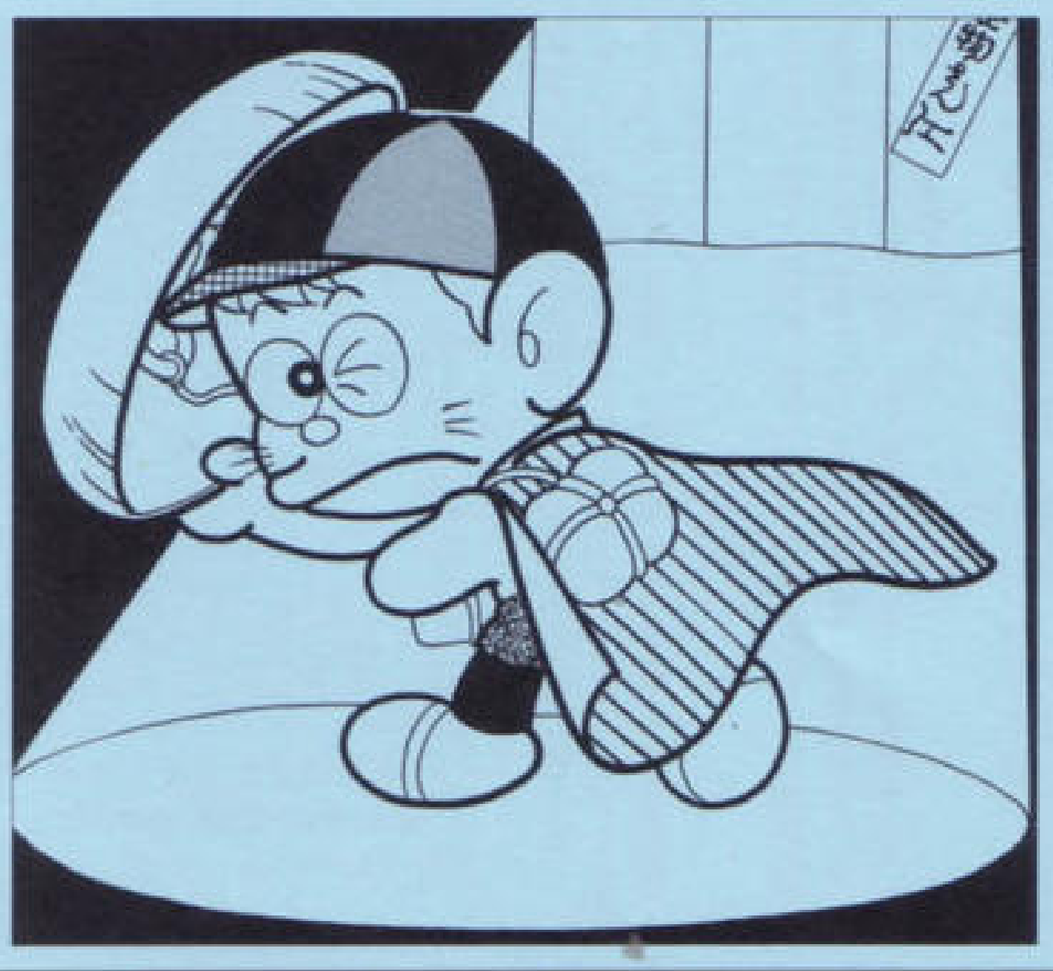
**尾田**：なんて書かれるんですか？

**藤子Ⓐ**：「マンガ家」のマンをとって「画家」とか、「デザイナー」って書いたりね。

**尾田**：ぼくにとっては、アシスタントをつとめており、そこで武井宏之先生、しんがきん先生、いとうみきお先生たちと知り合った。

（※注13）『まんが道』にも紹介されているエピソードだが、藤子不二雄先生は上京して間もなく、殺到する依頼を仕上げきれなかったために数か月の謹慎状態を経験した。その経験をふまえて、お互いに「原稿を落とす」（最終の締切りをこえて、作品が掲載されない状態になること）ことがないよう約束を交わした。

（※注14）通常、マンガ家はネーム（絵の構図やセリフが描きこまれた、下描きのもと）を作り、描く内容を決めてから作画に取りかかる。ネームと作画を同時に進めていく場合、意外な展開が生まれる可能性があるが、ストーリーの流れを成立させるための高い構成力も求められる。



# 尾田さんの作品には、作者から読者への理想的な流れを感じるなあ。

**Fujiko Fujio Ⓐ**

プロフィール：本名、安孫子素雄。1934年3月10日、富山県氷見市生まれ。小学校時代よりの親友、藤本弘と1954年に上京。ふたりでひとりのペンネーム「藤子不二雄」での本格的なマンガ制作をスタートさせた。1987年のコンビ解消後、「藤子不二雄Ⓐ」に改名。デビュー50周年をこえた現在も、精力的に作品を発表している。

## これからはシニア向けの作品を描きたい

（藤子Ⓐ）

**尾田**：もう、少年マンガは描かれないんですか？

**藤子Ⓐ**：いまの少年マンガって、一番むずかしいジャンルだと感じているんですよ。もう、いまの子供たちの嗜好とかが、わからないから。それよりは、自分の年齢に近い読者に向けて描いていくほうが楽しくてね。これからは、シニア向けというか、六十とか七十のじいさんたちが読んで楽しいマンガを描いていこうかと思っているんです。アナログ世代はマンガを読んで育ってきたからね。

## マンガは唯一体温が感じられるメディアだと思う

（藤子Ⓐ）

**尾田**：でも当分、マンガは紙で読むもの、という形は変わらなさそうですね。パソコンとかで見るマンガもありますけど、どうも読みにくくて。やっぱり、紙が持ってる温かみって、変わらずに受け入れられていくと思うんです。

**藤子Ⓐ**：自分では、パソコンを使ってまだ冷たい感じがしますね。パソコンで色を塗るより、手塗りのほうが好きです。やっぱり読者には、伝わっちゃうと思うので。

**藤子Ⓐ**：そうそう。マンガは唯一、体温が感じられるメディアであり続けるべきなんじゃないかと、ぼくは思ってるんだ。

## 今後もご自身の好きなものを描いてください！

（尾田）

―では最後に、お互いにエール交換をお願いします！―

**尾田**：今後も作品を楽しみにしています！　やはり自分の好きなものを描いていってください！

**藤子Ⓐ**：今日お話しして、自分のマンガがお好きなんだな、という熱意が伝わってきました。これからも、この調子で楽しい作品を描いてください。がんばってね！

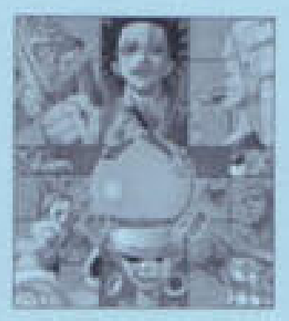
（※注15）最近は、カラー原稿の着色をコンピュータで行うマンガ家が増えている。ペン入れした白黒の原稿をスキャナーで取りこんだ後、イラスト用ソフトなどを使って色を塗るのがポピュラーな方法。塗りなおし、色の変更やぼかしなどの効果が単一的になりやすいという欠点もある。

撮影/菊地寛子

# INDEX

50P：週刊少年ジャンプ
2000年16号

44P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号表紙



34P：ＪＣ第13巻カバー

26P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号表紙

17P：週刊少年ジャンプ
1999年24号表紙

52P：週刊少年ジャンプ
2000年16号

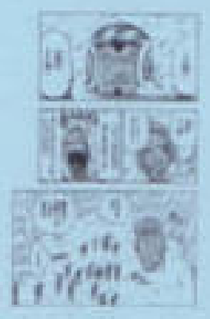
44P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号表紙

36P：週刊少年ジャンプ
1999年49号

26P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号表紙

18P：ＪＣ第11巻
作者イラスト

6P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号



53P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号

45P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号表紙

37P：週刊少年ジャンプ
1999年49号表紙

26P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号表紙

19P：週刊少年ジャンプ
1999年31号

8P：ＪＣ第10巻カバー

54P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号

45P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号表紙

37P：週刊少年ジャンプ
1999年49号表紙

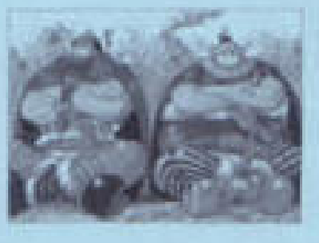
27P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号表紙

20P：週刊少年ジャンプ
1999年31号

10P：週刊少年ジャンプ
1999年22・23号8オボスター

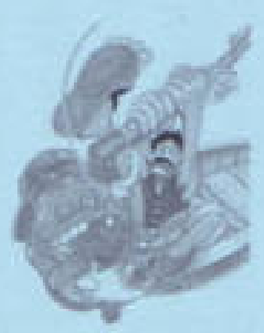
61P：ＪＣ第16巻カバー

46P：週刊少年ジャンプ
2000年3・4合併号表紙



38P：週刊少年ジャンプ
2000年3・4合併号

28P：週刊少年ジャンプ
1999年45号



21P：週刊少年ジャンプ
1999年35号表紙

12P：ＪＣ第10巻
作者イラスト

63P：週刊少年ジャンプ
2000年33号

46P：週刊少年ジャンプ
2000年5・6合併号表紙

40P：週刊少年ジャンプ
1999年49号

31P：週刊少年ジャンプ
1999年41号

22P：ＪＣ第12巻カバー

13P：週刊少年ジャンプ
1999年22・23号

64P：週刊少年ジャンプ
2000年29号

47P：週刊少年ジャンプ
2000年3・4合併号カレンダー

42P：ＪＣ第14巻カバー

32P：週刊少年ジャンプ
1999年45号表紙

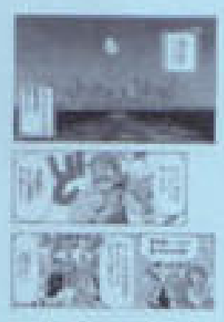
24P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号

14P：週刊少年ジャンプ
1999年22・23号

67P：週刊少年ジャンプ
2000年26号

48P：ＪＣ第15巻カバー

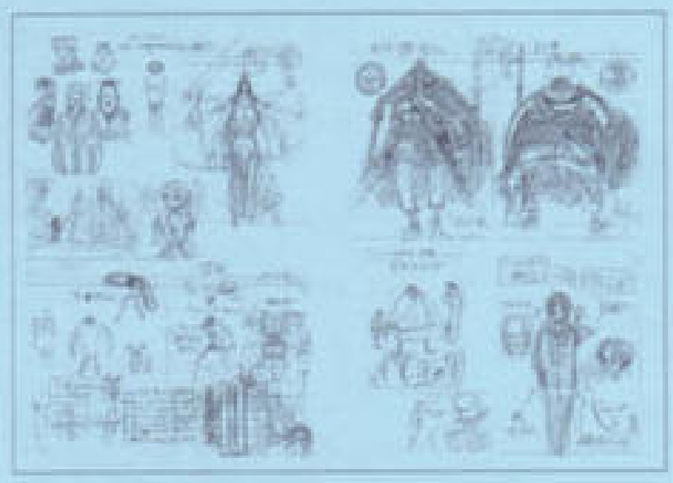
44P：週刊少年ジャンプ
2000年21・22合併号表紙



33P：週刊少年ジャンプ
1999年45号

26P：週刊少年ジャンプ
1999年37・38合併号表紙

15P：週刊少年ジャンプ
1999年22・23号



56P：尾田先生設定スケッチより抜粋

98P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

98P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

99P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

100P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

89P：週刊少年ジャンプ
2001年5・6合併号表紙

91P：ＪＣ第19巻カバー

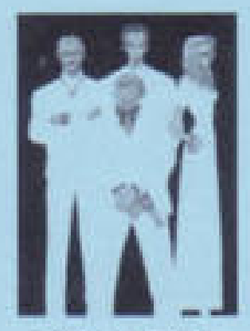
92P：週刊少年ジャンプ
2001年16号表紙

94P：週刊少年ジャンプ
2001年21・22合併号表紙

95P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

96P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

97P：尾田先生
設定スケッチより抜粋



97P：尾田先生
設定スケッチより抜粋

77P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙

77P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙

78P：週刊少年ジャンプ
2000年42号

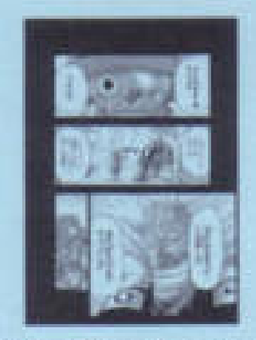
80P：ＪＣ第18巻カバー

82P：週刊少年ジャンプ
2000年46号

85P：週刊少年ジャンプ
2001年3・4合併号

86P：週刊少年ジャンプ
2000年50号

88P：週刊少年ジャンプ
2001年3・4合併号表紙



68P：週刊少年ジャンプ
2000年33号

69P：週刊少年ジャンプ
2000年36・37合併号表紙

71P：ＪＣ第17巻カバー

72P：週刊少年ジャンプ
2000年36・37合併号

75P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙

76P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙

76P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙

77P：週刊少年ジャンプ
2000年42号表紙


●デザイン　田熊樹美（Freiheit）
●編集協力　キャラメルママ
●製版　山宮伸之
●マップイラスト　早坂桂一

JUMP COMICS DELUXE
尾田栄一郎画集
**ONE PIECE**
**COLOR WALK 2**
2003年11月9日　第1刷発行



著　者◎尾田栄一郎
©EIICHIRO ODA 2003



編集人◎茨木政彦
発行人◎鳥嶋和彦
発行所◎株式会社　集英社
〒101-8050　東京都千代田区一ツ橋2-5-10
TEL 編集　03(3230)6233
販売　03(3230)6191
制作　03(3230)6076
印刷所◎図書印刷株式会社



造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して小社制作部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となります。

絵は何かを伝えるでしょうか？
漫画は何かを説くでしょうか？
実は、自分の描く作品に
僕はメッセージを込めない。
物語を描けば、
テーマが勝手に生まれるから。
それについては僕なりの答えを
一生懸命引き出すけれど、
作品から何を受け取るかは
読み手一人一人が
自由に決めてくれること。
だからメッセージはしない。
が、
んー。でも、
言いたい事がないわけじゃない。
週刊連載で毎週毎週
描く絵に少し
言葉をそえるとしたら、
「今週も元気にいきましょう」
これくらい。
いつも応援ありがとう。

Eiichiro Oda.

**●EIICHIRO ODA**

1975年1月1日、熊本県熊本市に生まれる。
高校在学中の1992年に
集英社週刊少年ジャンプ「第44回手塚賞」応募、
「WANTED!」で準入選を受賞。
1993年には「一鬼夜行」で
「第104回ジャンプ赤ステップ賞」に入選。
その後も数々の読み切り漫画をジャンプ誌上で発表し、
1997年「ONE PIECE」の連載を開始、現在に至る。

（主なコミックス出版物）
ジャンプコミックス　尾田栄一郎短編集「WANTED!」
ジャンプコミックス「ONE PIECE」
JCDX「ONE PIECE尾田栄一郎画集COLOR WALK1」

# ONE PIECE

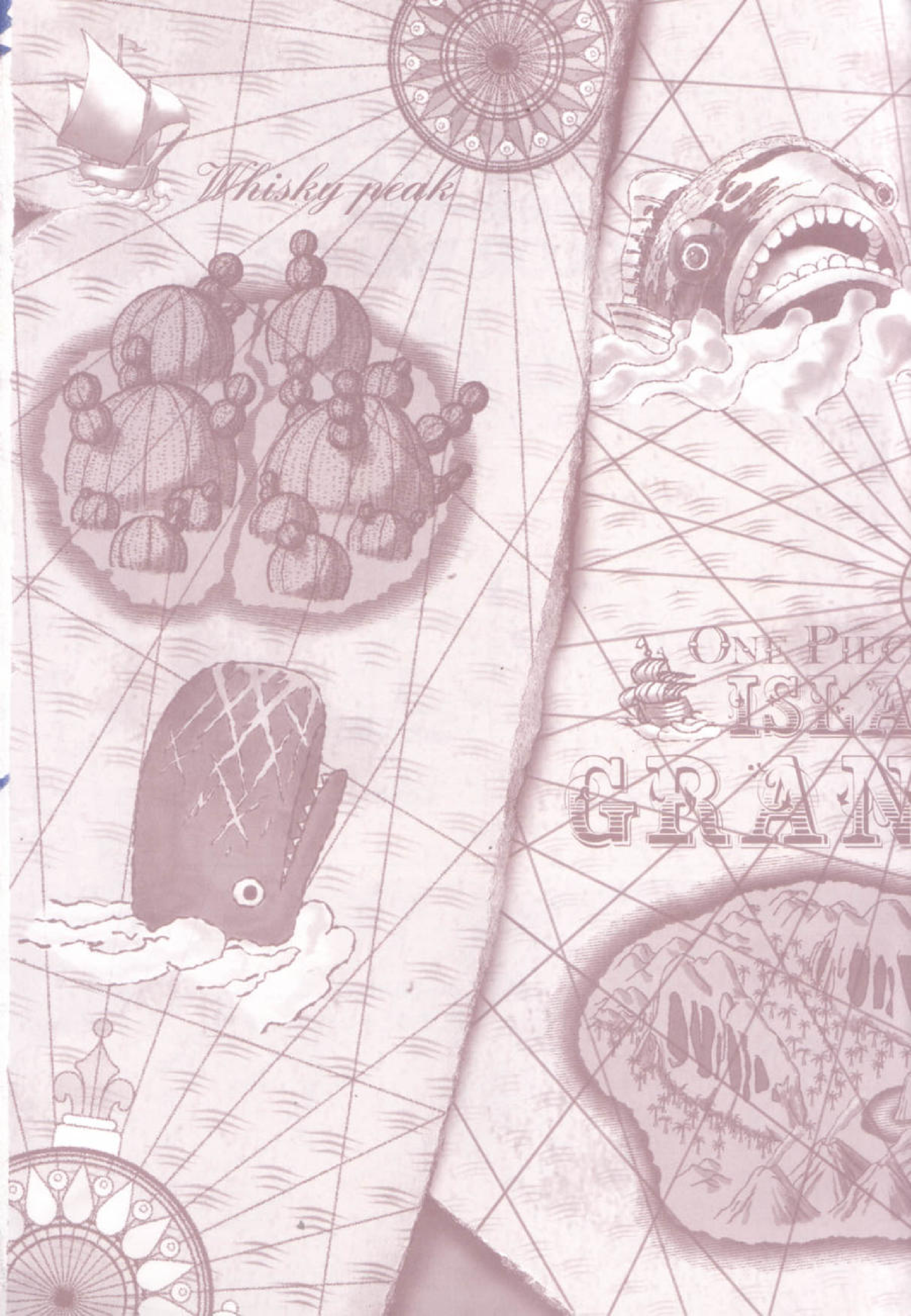
## 尾田栄一郎画集

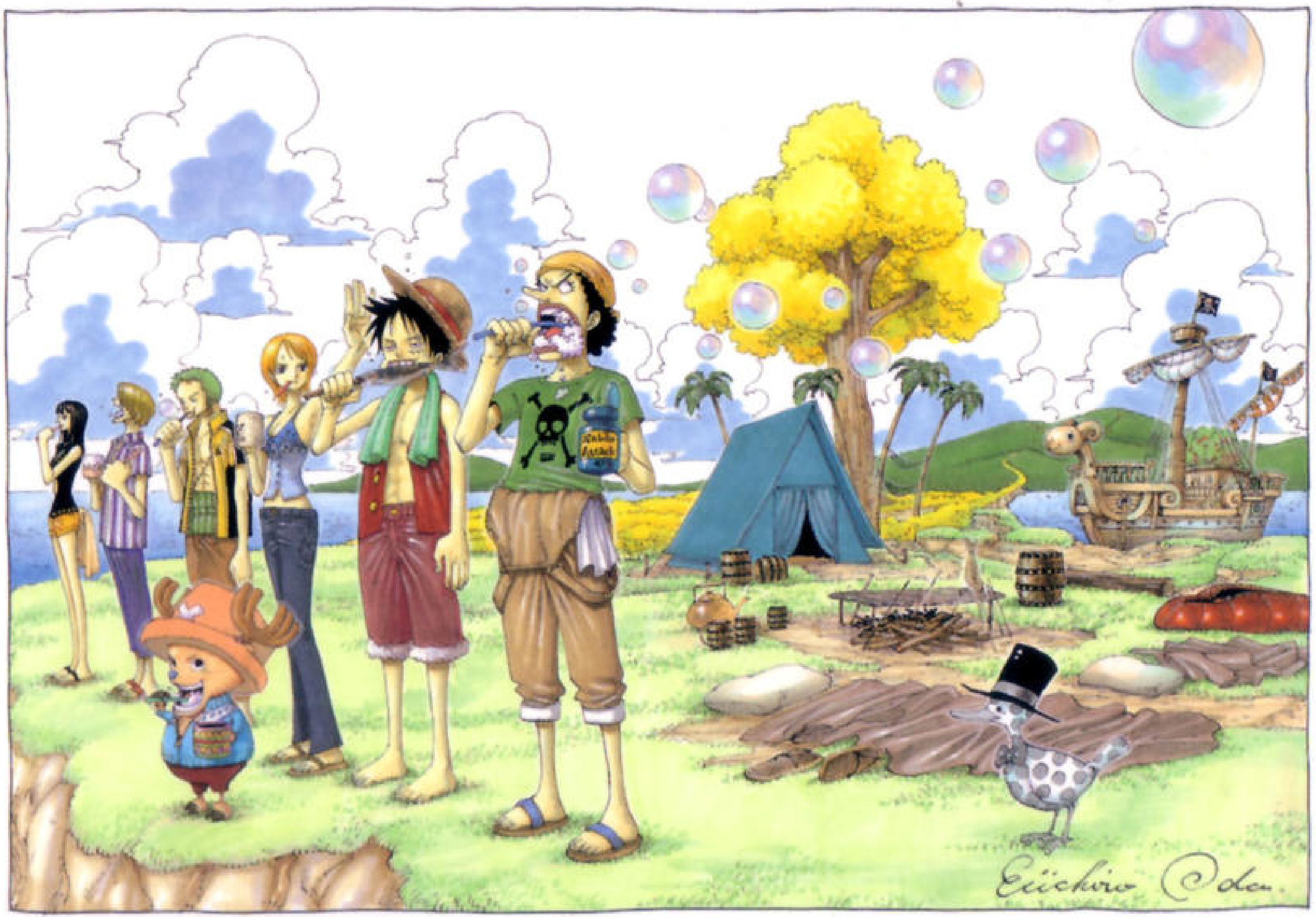
# COLOR WALK 2

# SPECIAL POST CARD

ポストカードは、台紙からゆっくりとはがしてください。
残ったノリは、ていねいにこするとキレイに取れます。

Little garden


Whisky peak
ONE PIEC
ISLA
GRAN


Eiichiro Oda

POST CARD

**ONE PIECE 尾田栄一郎画集 COLOR WALK2**

©尾田栄一郎/集英社